# 球磨圏域　通所支援事業所の紹介

（令和８年７月１日現在）


○児童発達支援センター スイスイなかま　P04
○第ニパステール　P06
○パステール　P08
○児童発達支援事業所こどもサポートセンターぴゅーぱ　P10
○通所支援事業所 ゆうくらぶ　P12
○ＬＳＪ（Learning support Jyo-shou）　P14
○おひさま広場　P16
○通所支援事業所 nicoichi　P18
○わくワーク広場 おーぶ　P20
○多機能型事業所 けやき　P22
○ぴーすクラブ　P24
○放課後等デイサービス るみね　P26
○発達支援ルーム ＬＳＪ ＫＵＭＡ　P28
○はぴはうす　ポコ　P30
○ファミリーサポートハウス　みりみり　P32
○ＬＳＪ ＴＡＲＡＧＩ　P34
○ぴーすクラブ２nd　P36
○ねいろ　P38
○ファミリーリンクさーくる　P40
○モンテッソーリ発達支援 ひつじ子どもの家　P42
○KTEC ベース人吉　P44


※年１回情報を更新しております。最新の情報と異なる場合がございますのでご注意ください。

## ★「療育」とは…？

**一人一人のお子さんの発達や理解に合わせて、今のお子さん自身やご家族の困りごとの解決を目指し、お子さんが日常生活を送りやすくするための方法を、専門性をもってご家族と一緒に考え取り組んでいくこと。将来的には、療育で学んだことがお子さんの自立と社会参加の力になるよう、必要な支援を提供していくものです。**

## ★療育を担っている、児童発達支援・放課後等デイサービスってどんなところ？

### 児童発達支援　（略：児発）

０歳から小学校入学前の未就学児童が対象となります。利用基準としては障害者手帳や療育手帳の有無ではなく、その子に「療育が必要かどうか」で判断されます。ほとんどのお子さんが保育園等に就園しながら事業所を利用され、お子さんやその家族に対して日常生活における基本動作の支援、集団生活への適応訓練等の支援を行います。

### 放課後等デイサービス　（略：放デイ）

小学生から高校生までが対象となります。利用基準は児童発達支援と同じです。事業所では放課後や夏休み等の長期休暇中において、生活能力の向上のための訓練等を継続的に提供することにより、その子の自立を促進するとともに、放課後等の活動の場となります。

### 保育所等訪問支援　（略：訪問）

本人及び保護者が希望することで、保育園、幼稚園、小学校その他の集団生活を営む場所において、集団生活の適応のための専門的な支援を必要とする場合に、安定した利用ができるようお子さんが所属する場所を訪問して支援を行います。

以上３つは障害児通所支援事業所が行う、福祉サービスの名称になります。

## ★利用をしたいと思ったら・・・

上記の福祉サービスを利用したいと思われたら、次の関係機関におたずねください。利用するためには各市町村が発行する「受給者証」が必要になります。

- ◇ 各市町村福祉課、又は保健センターの保健師
- ◇ 障害児相談支援事業所
- ◇ 児童発達支援センター
- ◇ 障害児通所支援事業所

## ★利用料っていくらくらいなのかなぁ・・・？

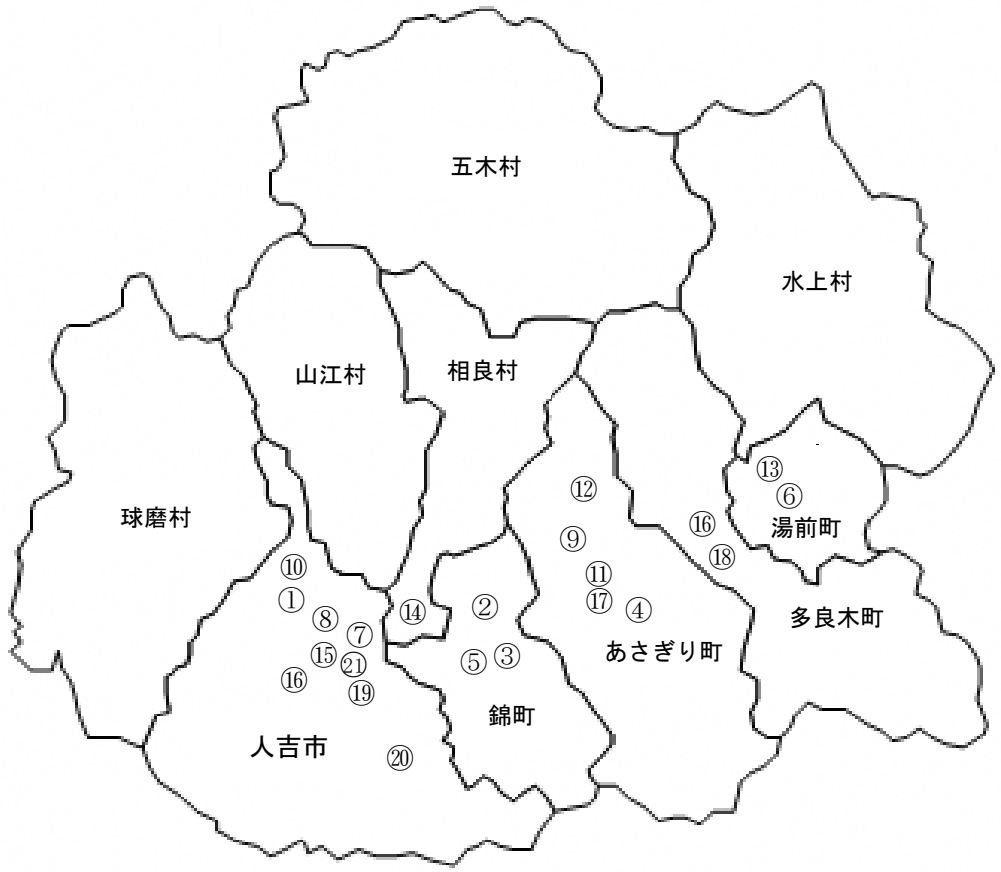
### 利用料（自己負担額）について

利用料は法律で定められており、利用者はその１割を負担することになります。事業所ごとの職員体制などで利用料は変わります。ただし、ご負担には世帯所得により月額上限額が定められており、それを超える負担はありません。また、満３歳になって初めての４月１日から就学前までの児童発達支援に係る利用料は無料となっています。その他事業所によっては、おやつ代や教材費等の費用負担が発生する場合があります。

その他、詳細については、各市町村の担当窓口におたずねください。

例）世帯所得が約８９０万円までの方の月額上限額は４，６００円です。

# 人吉球磨圏域　指定障害児通所支援事業所分布地図




| 位置 | 事業所名 | サービスの種類 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 児発 | 放デイ | 訪問 |
| 1 | 児童発達支援センタースイスイなかま | ○ | ○ | ○ |
| 2 | 第二パステール | | ○ | |
| 3 | パステール | ○ | ○ | |
| 4 | こどもサポートセンター　ぴゅーぱ | ○ | ○ | |
| 5 | 通所支援事業所　ゆうくらぶ | ○ | ○ | |
| 6 | LSJ (Learning support Jyo-shou) | | ○ | ○ |
| 7 | おひさま広場 | ○ | ○ | |
| 8 | 通所支援事業所 nicoichi | | ○ | |
| 9 | わくワーク広場　おーぶ | ○ | ○ | |
| 10 | 多機能型事業所　けやき | ○ | ○ | |
| 11 | ぴーすクラブ | ○ | ○ | |
| 12 | 放課後等デイサービス るみね | | ○ | |
| 13 | 発達支援ルーム　LSJ KUMA | ○ | ○ | |
| 14 | はぴはうす　ポコ | ○ | ○ | ○ |
| 15 | ファミリーサポートハウス　みりみり | ○ | ○ | |
| 16 | LSJ　TARAGI | | ○ | |
| 17 | ぴーすクラブ 2nd | | ○ | ○ |
| 18 | ねいろ | ○ | ○ | |
| 19 | ファミリーリンクさーくる | | ○ | |
| 20 | モンテッソーリ発達支援 ひつじ子どもの家 | ○ | | |
| 21 | KTEC ベース人吉 | | ○ | ○ |

令和８年（2026 年）７月１日現在

| | | |
|---|---|---|
| 事業所名 | | □児発　□訪問<br>□放デイ |
| 見学・相談等担当者 | | |

事業所が実施しているサービスにチェックが入っています

【基本情報】

| | | |
|---|---|---|
| 住　　所 | | |
| 電話／ＦＡＸ | ／ | |
| ＨＰアドレス | | |
| 管　理　者 | | |
| 児童発達支援管理責任者 | | |
| 保育所等訪問支援員 | | |
| 職員有資格<br>（　■常勤　☑非常勤　） | □保育士　□児童指導員　□医師　□看護師　□心理士<br>□理学療法士　□作業療法士　□言語聴覚士　□介護福祉士<br>□社会福祉士　□精神保健福祉士　□その他（　　） | |

【活動内容】

基本的なカリキュラム

★児童発達支援

| 登所 | 健康ﾁｪｯｸ | ｻｰｷｯﾄ | 個別活動 | 主活動 | 個別活動 | お集まり | 降所 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 8：45 | | | 10:00 | | | | 11:30 |

★放課後等デイサービス

| 登所 | 健康チェック | おやつ | |
|---|---|---|---|
| 15:30 | | | |

1 日に利用可能な人数です。児発と放デイを行っている事業所は 2 つ併せての定員になります。
例：月曜日の午前中、児発利用が 6 名の場合、午後からの放デイ利用は 4 名となります

| | |
|---|---|
| 定　　員 | 10 名／日 |
| 開　所　日 | □月　□火　□水　□木　□金　□土　□日　□祝祭日<br>□その他（　　） |
| 利 用 時 間 | |
| | |
| | 事業<br>イサービス事業 |
| 送迎の範囲 | |
| 利用の方法<br>（児発のみ） | □家族（同伴）療育　　□単独（利用児のみ）療育<br>□その他（　　） |
| 学校長期休暇中の利用<br>（放デイのみ） | |
| 事業所の特色 | |
| 一割負担以外の費用負担 | □無　　□有（　　） |

ご家族（祖父母等でも構いません）の方も一緒に来ていただき子どもとご家族が共に学ぶ利用方法

子どもだけが利用する方法ですが、ご家族からの相談等は受けていただけます

夏休み等の長期休暇中の受入れ状況
例：終日可／午後 1 時 30 分から可など

理念や目的の達成のため、療育の提供にあたり大事にしていることや、重点的に取り組んでいること

令和８年（2026 年）７月１日現在

| 事業所名 | 児童発達支援センター スイスイなかま | ■児発 ■訪問<br>■放デイ |
|---|---|---|
| 見学・相談等担当者 | 池上つかさ（児童発達支援管理責任者） | |

【基本情報】

| | |
|---|---|
| 住　　所 | 人吉市上林町字幸才 1178 番地 7 |
| 電話／ＦＡＸ | 0966-24-328　／　0966-32-9866 |
| ＨＰアドレス | hitoyoshi-fureai.jp |
| 管　理　者 | 椎葉浩太郎 |
| 職員有資格<br>（　■常勤　☑非常勤　） | ■保育士　■児童指導員　☑医師　□看護師　□心理士<br>☑理学療法士　☑作業療法士　☑言語聴覚士　□介護福祉士<br>■社会福祉士　□精神保健福祉士　□その他（　　） |



【活動内容】

基本的なカリキュラム

★児童発達支援　（個別療育 9:00～10:00・グループ療育 10:15～12:00）

| 登所 | 健康ﾁｪｯｸ | ｻｰｷｯﾄ | 個別療育 | グループ療育 | お集まり | 降所 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 9:00～10:00 | 10:15～12：00 | | ～12:00 |

★放課後等デイサービス　（14：00　～　17:15）

| 登所 | 健康チェック | 個別課題・SST・サーキット活動等 | 降所 |
|---|---|---|---|
| 14:00～　（長期休暇問わず） | | | ～17:15 |

| | |
|---|---|
| 定　　員 | 10 名／日 |
| 開　所　日 | ■月　■火　■水　■木　■金　□土　□日　□祝祭日<br>□その他（　　） |
| 利 用 時 間 | 児童発達支援　9：00～12：00<br>放課後等デイサービス　14：15～17：15 |
| サービス提供区域 | 人吉球磨全域 |
| 送迎の有無 | 児童発達支援事業　（有）／　無<br>放課後等デイサービス事業　（有）／　無 |
| 送迎の範囲 | 人吉球磨全域 |
| 利用の方法<br>（児発のみ） | ■家族（同伴）療育　□単独（利用児のみ）療育<br>□その他（　　） |
| 学校長期休暇中の利用<br>（放デイのみ） | 長期休暇を問わず常時、午後２時００分からの受入れ |
| 事業所の特色 | ・家族療育の強みを生かし、療育の場面を通して日頃からご家族と一緒に対象児の成長を確認しながらサービスを提供していく。<br>・個別療育とグループ療育の 2 つの設定をしており、対象児の月齢や状況に合わせて選択できるようにしている。 |
| 一割負担以外の費用負担 | ■無　□有（　　） |

事業所名：児童発達支援センター スイスイなかま

**Q&A**

Q1　利用している子どもや児童生徒が取り組む主な活動内容と、その活動の目的を具体的に教えてください。（本人支援）

Ans.

**・構造化された環境の中で、個々の障がい特性に合わせた課題の提示。**
**・就学に向け、必要な身辺自立等の獲得や生活リズムを整えるため、保護者の方と共にタイムスケジュールを立て無理なく取り組む。**
**・保護者からのニーズ調査を元に個別支援課題の設定をおこない、必要な SST を個別に、また集団でコミック会話や視覚的支援を使ってロールプレイなどを実施している。**

Q2　就学や進学、また在園・在学中や事業所の変更の際等に何かしらの支援をしていただけますか？もし実施されている場合、具体的に教えてください。（移行支援）

Ans.

**・就学時健診前の視覚的手順書の作成準備、就学先の学校との連絡調整。**
**・就学先、移行事業所先へのサポートブックを活用した情報提供。**
**（有効な視覚的支援、障がい特性の情報など）**

Q3　家族が安心して子育てをおこなうことができるための取り組みとして、家族が学ぶ機会や相談する機会はありますか？具体的に教えてください。（家族支援）

Ans.

**・学校や自宅での子どもの困りごとがある時には、電話や事業所内相談を受け、一緒に考える。**
**・サポートブック作成を通した、ご家族の更なるわが子理解への支援。**
**・年中児対象児の保護者への就学に向けた勉強会の実施。**
**・ペアレントプログラムの実施。**

Q4　利用している子どもや児童生徒が地域で安心して生活ができるよう、所属する園や学校の先生からの相談等を受けていただくことは可能ですか？これまでの取り組み例があれば教えてください。（地域支援）

Ans.

**・不登校になっている児童への対応**
**・学校へ出向き、その子に適したスケジュールの提示の仕方、組み立て方について担任の先生、特別支援コーディネーターの先生と情報を共有し、共通の取り組みの実施。定期的に情報の共有を行い方向性を統一。**
**・必要に応じて学校、家庭、事業所が共有のノートを通じて情報の共有を図り、支援の方向性を探る取り組みを行う。**
**また、町村独自に所属するＳＳＷからの要請を受け、学校でのケース会議に参加。**

Q5　職員は様々な研修等を受けていると思いますが、こども総合療育センターや発達障がい者支援センター等の公的機関が実施している研修への参加状況を教えてください。（令和 7 年度中）

Ans.

**・こども療育センター主催：児童発達支援管理責任者及び事業所スタッフ向けスキルアップ研修**
**・わるつ主催：「発達障がい連続講座 3 回シリーズ」**

令和 8 年（2026 年）7 月 1 日現在

| 事業所名 | 第二パステール | □児発　□訪問<br>■放デイ |
|---|---|---|
| 見学・相談等担当者 | 桑原 美佳子（児童発達支援管理責任者） | |

【基本情報】

| | | |
|---|---|---|
| 住　　所 | 球磨郡錦町一武 1644 | 写真<br>（no photo） |
| 電話／ＦＡＸ | 080-3228-4049　／0966-38-3926 | |
| ＨＰアドレス | https://www.pasuteeru.jp | |
| 管　理　者 | 星原 誠人 | |
| 職員有資格<br>（　■常勤　☑非常勤　） | ■保育士　■児童指導員　□医師　□看護師　□心理士<br>□理学療法士　□作業療法士　□言語聴覚士　□介護福祉士<br>□社会福祉士　□精神保健福祉士　□その他（　　） | |

【活動内容】

基本的なカリキュラム

★児童発達支援　（個別療育 0:00～0:00・グループ療育 0:00～0:00）

| 登所 | | | | | | 降所 |
|---|---|---|---|---|---|---|

00:00　　00:00　　00：00

★放課後等デイサービス

| 登所 | 検温<br>水分補給 | 着替え・運動あそび | 個別課題・グループ活動 | 帰りの会 | 降所 |
|---|---|---|---|---|---|

15:30　　15:45　　16:20　　17:00　　17:15

| | |
|---|---|
| 定　　員 | 10 名／日 |
| 開 所 日 | ■月　■火　■水　■木　■金　■土（隔週）　□日　□祝祭日<br>□その他（お盆、年末年始） |
| 利 用 時 間 | 14：00～17：15 |
| サービス提供区域 | 人吉球磨全域 |
| 送迎の有無 | 児童発達支援事業　　有　／　無<br>放課後等デイサービス事業　　(有)　／　無 |
| 送迎の範囲 | 人吉球磨全域　（要相談） |
| 利用の方法<br>（児発のみ） | □家族（同伴）療育　　□単独（利用児のみ）療育　□その他（　　） |
| 学校長期休暇中の利用<br>（放デイのみ） | 10：00～16：00 |
| 事業所の特色 | ○日常生活の動作や身辺自立、生活に必要なスキルの習得に向けての支援。<br>○運動遊びを通して、発達の土台を育てる。<br>○言葉遊びと手話遊び・個別療育と集団療育。<br>○日々の観察と気づきを大切にし、振り返りと感動報告、ヒヤリハットの確認と記録。 |
| 一割負担以外の費用負担 | □無　　■有（　外注・行事等で必要な時　） |

**Q&A**

Q1　利用している子どもや児童生徒が取り組む主な活動内容と、その活動の目的を具体的に教えてください。（本人支援）

Ans.

**〇日常生活の動作や身辺自立、生活に必要なスキルの習得に向けての支援。**
**※排泄記録や保護者のニーズの確認等**
**〇運動遊び・・前庭覚と固有受容覚の感覚に、遊びの中から刺激を与えることで、楽しく五感を育てることを目標として、活動内容を工夫し取り組んでいます。（発達の土台作り）**
**※アイシング・バイブレーション・トランポリン・バランスボール・頭部回旋他・基本の動作等**
**〇言葉遊びと手話遊び・・個別療育と集団療育**
**個別課題・・毎月課題変更（目標設定の見直し）**
**グループ活動・・お口の体操や挨拶、２語文やソング学習、ルールやマナー等についての大切さを伝えています。**
**手話での挨拶や表現、手話ソングや手話による読み聞かせ（外部ボランティア）の取り組み。**
**〇スモールステップアップを目標に、身辺自立・知的面・運動面・社会面を一人一人のペースに合わせた取り組み。**

Q2　就学や進学、また在園・在学中や事業所の変更の際等に何かしらの支援をしていただけますか？もし実施されている場合、具体的に教えてください。（移行支援）

Ans.

**・事業所を併用して利用される場合や、就労支援事業所へ進む際に必要な支援内容の引継ぎの為の情報提供書を作成する事や移行支援会議に参加など。**
**※高等部三年生の移行支援が多い。**

Q3　家族が安心して子育てをおこなうことができるための取り組みとして、家族が学ぶ機会や相談する機会はありますか？具体的に教えてください。（家族支援）

Ans.

**・保護者への相談対応、家庭での関わり方の助言、事業所での成長や課題の報告。**
**・保護者との定期的な面談や報連相等の情報の共有**
**・必要に応じて関係機関との会議の場を設け、一貫した連携の支援体制を整える。**
**・営業時間内外での受け入れ（延長支援）**
**・研修会のお知らせや情報の提供（目育・眼鏡/足育・インソール/その他）**

Q4　利用している子どもや児童生徒が地域で安心して生活ができるよう、所属する園や学校の先生からの相談等を受けていただくことは可能ですか？これまでの取り組み例があれば教えてください。（地域支援）

Ans.

**・関係機関との連携・・作業療法士との情報の共有（対象児のストレッチ方法等）**
**学校の先生の事業所見学や情報の共有。**
**・地域の資源の活用・・図書館で本を借りる・公園で遊ぶ・神社への参拝等。**
**・地域での生活体験・・買い物体験をする・交通ルールや公共交通機関の利用練習等。**
**・地域の特色を活かした活動・・地元の農産物を使った調理体験等（芋ほり/ジャム作り）**

Q5　職員は様々な研修等を受けていると思いますが、こども総合療育センターや発達障がい者支援センター等の公的機関が実施している研修への参加状況を教えてください。（令和７年度中）

Ans.

**・虐待防止セミナー**

令和８年（2026 年）７月１日現在

| 事業所名 | パステール | ■児発　□訪問<br>■放デイ |
|---|---|---|
| 見学・相談等担当者 | 馬場　敏子（児童発達支援管理責任者） | |

【基本情報】

| | | |
|---|---|---|
| 住　　所 | 球磨郡錦町一武２６０５－１ | 写真<br>（no photo） |
| 電話／ＦＡＸ | 0966-38-3926　／　0966-38-3926 | |
| ＨＰアドレス | https://www.pasuteeru.jp | |
| 管　理　者 | 星原　誠人 | |
| 職員有資格<br>（　■常勤　☑非常勤　） | ■保育士　■児童指導員　□医師　□看護師　□心理士<br>□理学療法士　□作業療法士　□言語聴覚士　□介護福祉士<br>□社会福祉士　□精神保健福祉士　□その他（　　） | |

【活動内容】

基本的なカリキュラム

★児童発達支援　（個別療育 9:40～10:00・10:40～11：00　グループ療育 10:00～10:40）

| 登所 | 健康チェック | 挨拶 | 個別活動 | グループ療育 | 個別学習 | 降所 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 9：30 | | | | 10:00 | 10:40 | 11:15 |

★放課後等デイサービス

| 登所 | 健康チェック | 個別学習・課題 | 戸外活動・サーキット | 降所 |
|---|---|---|---|---|
| 14:00 | | 14:30 | 15:30 | 17:00 |

| | |
|---|---|
| 定　　員 | 10 名／日 |
| 開 所 日 | ■月　■火　■水　■木　■金　■土　□日　□祝祭日<br>□その他（　土曜日は各月の予定による　） |
| 利 用 時 間 | 児童発達支援　　9：30～11：15<br>放課後等デイサービス　14：00～17：00 |
| サービス提供区域 | 人吉球磨全域 |
| 送迎の有無 | 児童発達支援事業　　（有）／　無<br>放課後等デイサービス事業　（有）／　無 |
| 送迎の範囲 | 人吉球磨全域（要相談） |
| 利用の方法<br>（児発のみ） | ■家族（同伴）療育　　■単独（利用児のみ）療育<br>□その他（　　） |
| 学校長期休暇中の利用<br>（放デイのみ） | 10：00～16：00 |
| 事業所の特色 | 子ども一人一人の発達や特性に合わせた個別支援を大切にしています。眼鏡やインソール等の補装具が必要なお子様には、日常生活や活動の中で適切に活用出来る様支援を行います。また、保護者の皆様には、日々の子育てや発達に関する相談に丁寧に対応し、ご家庭と連携しながら支援を進めます。 |
| 一割負担以外の費用負担 | ■無　　□有 |

事業所名：　パステール

**Q&A**

Q1　利用している子どもや児童生徒が取り組む主な活動内容と、その活動の目的を具体的に教えてください。（本人支援）

Ans

**・日常生活に必要なスキルの習得に向け、家庭と事業所にてそれぞれの課題を無理のない方法で取り組んでいきます。**
**・運動遊び（トランポリン・バランスボール・ブランコ・アイシング・バイブレーションプレート）からの刺激を与え、五感の育ちを促します。**

Q2　就学や進学、また在園・在学中や事業所の変更の際等に何かしらの支援をしていただけますか？もし実施されている場合、具体的に教えてください。（移行支援）

Ans

**・事業所の併用や就労支援事業所への移行の際は、情報提供書を作成します。**
**・移行後もサービス調整会議へ参加します。**

Q3　家族が安心して子育てをおこなうことができるための取り組みとして、家族が学ぶ機会や相談する機会はありますか？具体的に教えてください。（家族支援）

Ans

**・保護者との定期的な面談と、困り事などある際は電話や事業所にて相談援助を行います。**

Q4　利用している子どもや児童生徒が地域で安心して生活ができるよう、所属する園や学校の先生からの相談等を受けていただくことは可能ですか？これまでの取り組み例があれば教えてください。（地域支援）

Ans

**・（関係機関との連携）対象児を担当する理学療法士に療育中個別対応を行っていただき、その後療育の中で運動活動や遊びとして取り入れています。**

Q5　職員は様々な研修等を受けていると思いますが、こども総合療育センターや発達障がい者支援センター等の公的機関が実施している研修への参加状況を教えてください。（令和 7 年度中）

Ans

**・虐待防止研修**

令和 8 年（2026 年）7 月 1 日現在

| 事業所名 | 児童発達支援事業所こどもサポートセンター ぴゅーぱ | ■児発　□訪問<br>■放デイ |
|---|---|---|
| 見学・相談等担当者 | 田村　　禎（管理者） | |

【基本情報】

| | | |
|---|---|---|
| 住　　所 | 球磨郡あさぎり町上北 1457-3 | 写真<br>（no photo） |
| 電話／ＦＡＸ | 0966-45-7337　／　0966-45-7337 | |
| ＨＰアドレス | なし | |
| 管　理　者 | 田村　　禎 | |
| 職員有資格<br>（　■常勤　☑非常勤　） | ■保育士　■児童指導員　□医師　□看護師　☑心理士<br>□理学療法士　□作業療法士　☑言語聴覚士　■介護福祉士<br>■社会福祉士　□精神保健福祉士　□その他（　　） | |

【活動内容（基本的なカリキュラム）】

★児童発達支援

| 登所 | 健康ﾁｪｯｸ | お集まり親子遊び | 主活動 | 個別活動 | サーキット活動 | 自由遊び | お集まり | 降所（相談） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9：00 | | 9:15 | | 10:00 | | | 11：15 | 11：30 |

★放課後等デイサービス

| 登所 | 健康ﾁｪｯｸ | おやつ | 学習支援及び個別課題 | サーキット・ルール遊び | 迎え |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業終了後 | | | 16:00 | | 17:30 |

| | |
|---|---|
| 定　　員 | 10 名／日 |
| 開　所　日 | ■月　■火　■水　■木　■金　□土　□日　□祝祭日<br>□その他（　　） |
| 利 用 時 間 | 9:00　～　11:30<br>14:00　～　17:30 |
| サービス提供区域 | 人吉球磨全域（放課後等デイサービスについては限定） |
| 送迎の有無 | 児童発達支援事業　　有　／　(無)<br>放課後等デイサービス事業　　(有)　／　無 |
| 送迎の範囲 | 多良木町・あさぎり町 |
| 利用の方法<br>（児発のみ） | ■家族（同伴）療育　　□単独（利用児のみ）療育<br>□その他（　　） |
| 学校長期休暇中の利用<br>（放デイのみ） | 午前中は児童発達支援事業を行っているため、長期休暇中の受け入れについては 14 時 00 分から 17 時 30 分まで |
| 事業所の特色 | こども 1 人 1 人の得意なところ、苦手なところを知るために発達検査等の客観的な面や実際にこどもの活動の場面での観察を行い、個に合わせたかかわり方や課題の設定を行っている。医療受診後には保護者の了解をいただき、受診の結果や専門的なアドバイスをいただき、療育の現場にフィードバック出来るようにしている。 |
| 一割負担以外の費用負担 | ■無　　□有（　　） |

事業所名：児童発達支援事業所こどもサポートセンター ぴゅーぱ

**Q&A**

Q1　利用している子どもや児童生徒が取り組む主な活動内容と、その活動の目的を具体的に教えてください。（本人支援）

Ans.

**本人の発達の状況に合わせた個別課題への取組や基本的な体の安定（姿勢保持や空間認知、体の自己認知）や感覚特性への関わりが出来るようにｻｰｷｯﾄ活動を通じて様々な動きを行っています。また、小集団の中でのコミュニケーション（気持ちの表出など）、ルール理解。上手く出来たといった自己肯定感や有能感を高めるための声掛けや主活動の設定を行っています。**
**本人の発達支援をトータルに見据えた（5 領域をトータルに見据えた支援）。**

Q2　就学や進学、また在園・在学中や事業所の変更の際等に何かしらの支援をしていただけますか？もし実施されている場合、具体的に教えてください。（移行支援）

Ans.

**就学に向けての制度や相談。入学までの教育委員会及び学校（見学や相談）との連絡調整を行います。保護者の希望があれば療育からの繋ぎを直接学校に出向いて話をしたり、入学後も必要があれば学校でのこどもさんの観察を通して保護者や学校側との話し合いを行っています。**

Q3　家族が安心して子育てをおこなうことができるための取り組みとして、家族が学ぶ機会や相談する機会はありますか？具体的に教えてください。（家族支援）

Ans.

**家族同伴での療育を行っているため、療育活動中に話を行ったり、保護者等からの相談に対応しています。また、専門的な相談に対しては、後日専門職等から職員がアドバイスを受け保護者等へ話を行っています。**
**保護者等が集まっての勉強会について、現在は行っていません。**

Q4　利用している子どもや児童生徒が地域で安心して生活ができるよう、所属する園や学校の先生からの相談等を受けていただくことは可能ですか？もしよろしければ、これまでの取り組み例があれば教えてください。（地域支援）

Ans.

**保護者や学校側から連絡をいただければ実際に学校での様子を観察させていただき保護者や先生を交えてかかわり方等について話を行っています。**
**相談があった場合には保護者の了解があれば教育委員会の担当者も交えて話し合いを行っています。**

Q5　職員は様々な研修等を受けていると思いますが、こども総合療育センターや発達障がい者支援センター等の公的機関が実施している研修への参加状況を教えてください。（令和 7 年度中）

Ans.

**・県こども総合療育センタースキルアップ研修（1 名）（RC）・児童発達支援管理責任者基礎研修（2 名）・専門コース別研修（障害児支援）（1 名）・専門コース別研修（意思決定支援応用編）（1 名）・発達支援事業所連絡協議会全国研修（1 名）**

令和 8 年（2026 年）8 月 1 日現在

| 事業所名 | 通所支援事業所ゆうくらぶ | ■児発　□訪問<br>■放デイ |
|---|---|---|
| 見学・相談等担当者 | 内山　順子（管理者） | |

【基本情報】

| | | |
|---|---|---|
| 住　　所 | 球磨郡錦町一武 3098-2 番地 | 写真<br>（no photo） |
| 電話／ＦＡＸ | 0966-38-2520　／　0966-38-2520 | |
| ＨＰアドレス | youclub@nishikibb.jp | |
| 管　理　者 | 内山　順子 | |
| 職員有資格<br>（　■常勤　☑非常勤　） | ■保育士　■児童指導員　□医師　□看護師　□心理士<br>□理学療法士　□作業療法士　□言語聴覚士　□介護福祉士<br>□社会福祉士　□精神保健福祉士　■その他（　教員免許　） | |

【活動内容】

基本的なカリキュラム

★児童発達支援　（個別・グループ・ペア療育 10:00～11:00）

| 登所 | 始まりの会 | 個別課題 | グループ・ペア活動 | 運動 | 遊びの時間 | 帰りの会 | 各園へ送り |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 10:00 | 10:10 | 10:15 | | 10：30 | 10:40 | 10:50 | 11:00 |

★放課後等デイサービス（下校時間～17:10）

| 登所 | 宿題・余暇時間 | 活動 | 運動 | 帰りの会 | 自宅へ送り |
|---|---|---|---|---|---|
| 15:30 | 16:00 | 16:30 | | 16:50 | 17:10 |

| | |
|---|---|
| 定　　員 | 10 名／日 |
| 開 所 日 | ■月　■火　■水　■木　■金　□土　□日　■祝祭日<br>■その他（児童発達支援のみ月 1 回開所） |
| 利 用 時 間 | 児童発達支援　9：30～15：00<br>放課後等デイサービス　13：00～17：30 |
| サービス提供区域 | 人吉球磨全域 |
| 送迎の有無 | 児童発達支援事業　有<br>放課後等デイサービス事業　有 |
| 送迎の範囲 | 人吉球磨全域 |
| 利用の方法<br>（児発のみ） | □家族（同伴）療育　■単独（利用児のみ）療育<br>■その他（　月 1 回母子通所　） |
| 学校長期休暇中の利用<br>（放デイのみ） | 午後のみ |
| 事業所の特色 | 「できる」を増やし自信を持てる療育を行っています。 |
| 一割負担以外の費用負担 | ■無　□有（　　） |

事業所名：　通所支援事業所ゆうくらぶ

**Q&A**

Q1　利用している子どもや児童生徒が取り組む主な活動内容と、その活動の目的を具体的に教えてください。（本人支援）

Ans.

**活動では SST・運動・制作などを随時計画し取り組んでもらっています。SST ではあいさつや身の回りの整理整頓など基本的な事から、友だちとのコミュニケーションなど必要に応じて計画しています。また、運動では体幹運動やルールのあるゲームを行い、ルールを守る・順番を待つなど、小グループの中で楽しみながら、身体の使い方を知ってもらうなどの目的で行っています。**

Q2　就学や進学、また在園・在学中や事業所の変更の際等に何かしらの支援をしていただけますか？もし実施されている場合、具体的に教えてください。（移行支援）

Ans.

**・関係機関への情報提供書の作成、会議等の参加**
**・サポートブックの作成（希望者）**
**・多良木公立病院言語訓練の見学、内容の療育への活用**

Q3　家族が安心して子育てをおこなうことができるための取り組みとして、家族が学ぶ機会や相談する機会はありますか？具体的に教えてください。（家族支援）

Ans.

**定期的に保護者の方と面談等を行い、アセスメントや助言等をさせていただいています。**
**また、児童発達支援では月に一回母子通所を実施し、事業所での様子や成長を見ていただき、家庭での困り感等について相談を行っています。**

Q4　利用している子どもや児童生徒が地域で安心して生活ができるよう、所属する園や学校の先生からの相談等を受けていただくことは可能ですか？これまでの取り組み例があれば教えてください。（地域支援）

Ans.

**必要に応じて園等へ伺い、様子を見させていただき、情報共有や助言等出来ることがあればさせていただいています。**
**また、多良木公立病院の言語訓練を利用されている方は、職員が訓練の見学を行い、療育の中でも取り入れています。**

Q5　職員は様々な研修等を受けていると思いますが、こども総合療育センターや発達障がい者支援センター等の公的機関が実施している研修への参加状況を教えてください。（令和 7 年度中）

Ans.

**・熊本県北部発達障がい者支援センター　わっふる**
**・熊本県南部発達障がい者支援センター　わるつ**
**などの研修に随時参加しています。**

令和 8 年（2026 年）7 月 1 日現在

| 事業所名 | 放課後等デイサービス LSJ | □児発　■訪問<br>■放デイ |
|---|---|---|
| 見学・相談等担当者 | 藤岡　さゆり（エリアマネージャー） | |

【基本情報】

| | | |
|---|---|---|
| 住　　所 | 熊本県球磨郡湯前町 1955－2 | 写真 |
| 電話／ＦＡＸ | 0966- 43 - 2188　／　0966- 43 -2188 | |
| ＨＰアドレス | https://www.lsj-kumamoto.co.jp/lsj/ | |
| 管　理　者 | 稲森　瞳 | |
| 児童発達支援管理責任者 | 稲森　瞳 | |
| 保育所等訪問支援員 | 藤岡　さゆり | |
| 職員有資格<br>（　■常勤　☑非常勤　） | ■保育士　■児童指導員　□医師　□看護師　□心理士<br>□理学療法士　□作業療法士　□言語聴覚士　□介護福祉士<br>■社会福祉士　■精神保健福祉士　■その他（　中・高教員免許保持者　） | |

【活動内容】

基本的なカリキュラム

| 登所 | 宿題 | 個別課題 | SST | 専門的支援課題 | 自由時間 | 降所 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 15:30 頃～ | | | 16:00 | | | 18:00 |

★保育所等訪問支援

| 学校や学童への訪問 | 振り返り | 後日報告書のお渡し |
|---|---|---|

※訪問時間➡概ね 1 時間～1 時間 30 分，訪問日時は都度訪問先（学校や学童）と調整します

| | |
|---|---|
| 定　　員 | 10 名／日 |
| 開 所 日 | ■月　■火　■水　■木　■金　■土　□日　□祝祭日<br>□その他（　） |
| 利 用 時 間 | 放課後等デイサービス　　平日 14：30～18：00<br>長期休暇，休業日 9:00～17:30<br>訪問支援　月～土　10:00～17:00 |
| サービス提供区域 | 人吉球磨全域，西米良村 |
| 送迎の有無 | 訪問支援　　（有）／　無<br>放課後等デイサービス事業　　（有）／　無 |
| 送迎の範囲 | 人吉球磨全域，西米良村 |
| 利用の方法 | ■家族（同伴）療育　■単独（利用児のみ）療育　□その他（　） |
| 学校長期休暇中の利用<br>（放デイのみ） | 8:30～　開所<br>9:00～　宿題などの学習<br>10:00～　SST，専門的支援<br>11:00～　自由活動（トランプ，プラ板作り，塗り絵，ブロック等）<br>12:00～　昼食<br>13:00～　プール，川遊び，戸外遊び，体育館での運動遊び等<br>15:00～　おやつ，自由活動<br>16:30～　順次送迎<br>17:30　閉所 |
| 事業所の特色 | 学習支援，SST，専門的支援，各種社会体験等 |
| 一割負担以外の費用負担 | □無　■有（　おやつ代 1 回 50 円，年 1 回社会体験費　） |

Ans.

Q1　利用している子どもや児童生徒が取り組む主な活動内容と、その活動の目的を具体的に教えてください。(本人支援)

**学習支援➡学校の宿題や学習に対しての不安を軽減する目的の為,取り組んでいる。又ご自宅でのスケジューリングの際にも優先順位を考えしなくてはいけない事から優先順位の 1 番目に組み込む習慣を付ける為に来所後は先ず宿題等の学習に取り組むスケジューリングを提案している**
**SST➡学校や集団で起こりうる場面を想定し,自分ならどう考えどう対処するといった事を一緒に考えている。正解,不正解を問うものではなく自分自身の考えや思いなどを伝えてもらう場にしている。**
**又,学校や学童などの集団でのトラブルなどは課題プリントを作成し一緒に振り返りをしたり相手の気持ちなどを一緒に振り返る時間としている**
**専門支援➡本人さんの困り感に応じて精神保健福祉士による個別の支援を行います。自己肯定感をより向上させるために個別のカリキュラムでのご支援となります。**

Q2　就学や進学､また在園･在学中や事業所の変更の際等に何かしらの支援をしていただけますか？もし実施されている場合、具体的に教えてください。(移行支援)

Ans.

**面談などによる情報共有**
**就労の方の場合には自立サポート支援を行っている為その際の実習記録などの情報共有**

Q3　家族が安心して子育てをおこなうことができるための取り組みとして、家族が学ぶ機会や相談する機会はありますか？具体的に教えてください。(家族支援)

Ans.

**子育てサポート支援を実施している為,療育の時間保護者に様同席して頂いたり**
**相談などはいつでも対応できる体制にしている**
**各種研修や親の会などの情報提供も都度行っている**

Q4　利用している子どもや児童生徒が地域で安心して生活ができるよう、所属する園や学校の先生からの相談等を受けていただくことは可能ですか？これまでの取り組み例があれば教えてください。(地域支援)

Ans.

**相談はいつでも可能です。各学校や学童の先生方から利用児童等に関してのみではなく**
**対応に困る児童さんへの関わり方等のご相談には応じています**

Q5　職員は様々な研修等を受けていると思いますが、こども総合療育センターや発達障がい者支援センター等の公的機関が実施している研修への参加状況を教えてください。(令和 7 年度中)

Ans.

**R7 年度　こども総合療育センター主催　スキルアップ研修**
**9 月 2 日,10 月 9 日,1 月 9 日➡合計 3 回　　1 名参加**

令和８年（2026 年）７月１日現在

| 事業所名 | おひさま広場 | ■児発　□訪問<br>■放デイ |
|---|---|---|
| 見学・相談等担当者 | 谷川英二朗（管理者） | |

【基本情報】

| | |
|---|---|
| 住　　所 | 熊本県人吉市鬼木町６５９－１ |
| 電話／ＦＡＸ | 0966-26-3072　／　0966-26-3073 |
| ＨＰアドレス | atena-p.com |
| 管　理　者 | 谷川英二朗 |
| 職員有資格<br>（　■常勤　☑非常勤　） | ■保育士　■児童指導員　□医師　□看護師　□心理士<br>□理学療法士　□作業療法士　□言語聴覚士　□介護福祉士<br>■社会福祉士　□精神保健福祉士　□その他（　　） |



【活動内容】

基本的なカリキュラム

★児童発達支援

| 登所 | 保護者やスタッフとの活動 | 個別活動 | グループ活動 | 降所 |
|---|---|---|---|---|
| 09:00 | | | | 11：30 |

★放課後等デイサービス

| 登所 | 個別活動 | スタッフとの活動 | グループ活動 | 降所 |
|---|---|---|---|---|
| 14:30 | | | | 17:30 |

| | |
|---|---|
| 定　　員 | 10 名／日 |
| 開　所　日 | ■月　■火　■水　■木　■金　□土　□日　□祝祭日<br>□その他（　　） |
| 利 用 時 間 | 児童発達支援　　9：00～12：00<br>放課後等デイサービス　14：30～17：30 |
| サービス提供区域 | 人吉球磨全域 |
| 送迎の有無 | 児童発達支援事業　　㊒／無<br>放課後等デイサービス事業　　㊒／無 |
| 送迎の範囲 | 人吉球磨全域 |
| 利用の方法<br>（児発のみ） | ■家族（同伴）療育　　□単独（利用児のみ）療育<br>□その他（　　） |
| 学校長期休暇中の利用<br>（放デイのみ） | 常時、１４時３０分からの受け入れ |
| 事業所の特色 | ・家族療育を行っています。<br>・できる喜びを自信につなげ、自主性を育みます。 |
| 一割負担以外の費用負担 | ■無　　□有（　　） |

**Q&A**

Q1　利用している子どもや児童生徒が取り組む主な活動内容と、その活動の目的を具体的に教えてください。（本人支援）

Ans.

**活動内容**

**・スタッフとの活動で、個々に合わせた課題（身辺自立面やSST、意思決定）をそれぞれに合わせた方法で丁寧に取り組んでいます。**

**活動の目的**

**・子どもや児童が、将来的に日常生活や社会生活を円滑に営めるようにするため。**

**・自ら考え、自発的に行動できるようになるため。**

Q2　就学や進学、また在園・在学中や事業所の変更の際等に何かしらの支援をしていただけますか？もし実施されている場合、具体的に教えてください。（移行支援）

Ans.

**・就学については、就学時検診の内容についてスタッフとの活動で手順書を用いながら活動内容や流れを経験できるようにしています。合わせて、準備（経験）しておいたほうがいい事などをイメージできるよう保護者へお伝えしています。**

**他の保護者の経験談等も参考にして頂けるよう、保護者交流会などでの意見交換や事業所の通信を通してお知らせしています。**

**・就学先、進学先、事業所移行時…保護者から依頼があった時に情報提供を行っています。**

Q3　家族が安心して子育てをおこなうことができるための取り組みとして、家族が学ぶ機会や相談する機会はありますか？具体的に教えてください。（家族支援）

Ans.

**・家族が学ぶ機会**

**児童発達支援では家庭につなげるための支援として、活動中の子どもさんの姿を保護者と一緒に観察し、保護者の思いと擦り合わせながら対応等をお伝えしています。**

**・相談する機会**

**事業所内での個別相談についてお知らせしています。**

Q4　利用している子どもや児童生徒が地域で安心して生活ができるよう、所属する園や学校の先生からの相談等を受けていただくことは可能ですか？これまでの取り組み例があれば教えてください。（地域支援）

Ans.

**・可能です。**

**支援学級から通常学級へ移行する際に、通常学級での授業の様子を見て欲しいと依頼があり、参観しました。その後、担任と対応等について検討しました。**

**関係機関との連携。**

Q5　職員は様々な研修等を受けていると思いますが、こども総合療育センターや発達障がい者支援センター等の公的機関が実施している研修への参加状況を教えてください。（令和7年度中）

Ans.

**・熊本県南部発達障がい者支援センターわるつ主催の「フォローアップ研修」へ１名、熊本県北部発達障がい者支援センター‘わっふる’主催の基礎講座オンライン研修「自閉スペクトラム症及び発達障害」の特性について、「ソーシャルストーリー™研修」へ１名。**

令和８年（2026 年）７月１日現在

| 事業所名 | 通所支援事業　nicoichi | □児発　□訪問<br>■放デイ |
|---|---|---|
| 見学・相談等担当者 | 松本智子（管理者兼児童発達支援管理責任者） | |

【基本情報】

| | |
|---|---|
| 住　　所 | 人吉市上林町 802 番地 1 |
| 電話／ＦＡＸ | 0966-27-4168 ／　0966-27-4168 |
| ＨＰアドレス | |
| 管　理　者 | 松本　智子 |
| 職員有資格<br>（　■常勤　☑非常勤　） | ■保育士　■児童指導員　□医師　□看護師　□心理士<br>□理学療法士　□作業療法士　□言語聴覚士　■介護福祉士<br>□社会福祉士　□精神保健福祉士　□その他（　　） |




【活動内容】

基本的なカリキュラム

★放課後等デイサービス

| 登所 | 手洗い<br>うがい | 学習 | 個別課題 | おやつ | 全体活動 | 清掃 | 帰りの<br>準備 | 降所 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 10：30<br>14：30 | | | | | | | 16：30<br>17：30 | |

| | |
|---|---|
| 定　　員 | 10 名／日 |
| 開　所　日 | ■月　■火　■水　■木　■金　□土　□日　■祝祭日<br>□その他（　　） |
| 利 用 時 間 | 放課後等デイサービス（平日）　10：30～17：30<br>放課後等デイサービス（祝・学校休業日等）　10：00～15：00 |
| サービス提供区域 | 球磨村・山江村・相良村・錦町・人吉市 |
| 送迎の有無 | <br>放課後等デイサービス事業　㊒／無 |
| 送迎の範囲 | 球磨村・山江村・相良村・錦町・人吉市 |
| 利用の方法（平日）<br>（放課後等デイサービス） | 月曜日～金曜日　10：30～17：30（内３時間程度）で利用可能 |
| 学校長期休暇中の利用<br>（放デイのみ） | 月曜日～金曜日　10：00～15：00　で利用可能 |
| 事業所の特色 | 小学校一年生から高校３年生までの幅広い年代との関りができ、上級生、同学年、下級生との交流を通し、お世話をしたりお世話をされることで「ありがとう」「ごめんなさい」をことばで素直に伝えることができたり、教えてもらったことを素直な気持ちで受け止めることができるようになっていきます。様々な年代との交流ができる場所を提供し、生きがいや誰かに必要とさる経験を積み重ねながら、地域で安心して生活が送れるように、支援を行っていきます。 |
| 一割負担以外の費用負担 | ■無　　□有（　　） |

事業所名：　通所支援事業所　nicoichi

**Q&A**

Q1　利用している子どもや児童生徒が取り組む主な活動内容と、その活動の目的を具体的に教えてください。（本人支援）

Ans.　**完全個別でケジュールに沿って、時間の管理や身辺自立の向上に向けた支援を実施しています、また、高学年と小学生が一緒に過ごせる環境を設定し、宿題や着替え等のお世話をすることで人から必要とされることや、感謝する・感謝されることを学べる場所として支援を実施しています。**

Q2　就学や進学、また在園・在学中や事業所の変更の際等に何かしらの支援をしていただけますか？もし実施されている場合、具体的に教えてください。（移行支援）

Ans.

**小学校から中学校へ中学校から高校への進学の際は、　長期休みを利用して、学校見学や公共交通機関の利用方法など一緒に調べたり、実際に通学ルートをバスに乗って経験をしてみるなどの支援を行います。**

Q3　家族が安心して子育てをおこなうことができるための取り組みとして、家族が学ぶ機会や相談する機会はありますか？具体的に教えてください。（家族支援）

Ans.

**御家族様の児童に対しての相談は、事業所で伺い改善方法を見出します。また、事柄によっては相談員さんに、こちらからお話させて頂き、より良い改善策を提案致します。**

Q4　利用している子どもや児童生徒が地域で安心して生活ができるよう、所属する園や学校の先生からの相談等を受けていただくことは可能ですか？これまでの取り組み例があれば教えてください。（地域支援）

Ans.

**可能です。**
**事業所での様子や、どのような支援をしているかを記載した用紙を学校や保育園、病院等にお渡ししたり、お電話や、お話の場で情報提供を行います。**
**保育園や学校の先生、コーディネーターの先生、相談員の方とお話の場を設けてもらい、より一層の方向性を統一していきます。**

Q5　職員は様々な研修等を受けていると思いますが、こども総合療育センターや発達障がい者支援センター等の公的機関が実施している研修への参加状況を教えてください。（令和７年度中）

Ans.

**令和８年４月から、新規事業所として開所させていただきました。今後は外部研修等への参加をお願いいたします。**

令和８年（2026）７月１日現在

| 事業所名 | わくワーク広場おーぶ | □児発　■訪問<br>■放デイ |
|---|---|---|
| 見学・相談等担当者 | 河村　留美（管理者） | |

【基本情報】

| | |
|---|---|
| 住　　所 | 球磨郡あさぎり町免田西 1260-4 |
| 電話／ＦＡＸ | 0966 - 45 - 0050　／　0966 - 45 - 0050 |
| ＨＰアドレス | Oube2222@gmail.com |
| 管　理　者 | 河村　留美 |
| 職員有資格<br>（　■常勤　☑非常勤　） | ■保育士　■児童指導員　□医師　□看護師　□心理士<br>□理学療法士　□作業療法士　■言語聴覚士　□介護福祉士<br>□社会福祉士　□精神保健福祉士　□その他（　　） |



【活動内容】

基本的なカリキュラム

★放課後等デイサービス

| 登所 | 健康チェック | 個別課題 | 導入 | 発達遊び・SST・選択活動等 | 片付け・帰りの会 | 降所 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 下校後 | | | 16:00 | | | 17:30 |

| | |
|---|---|
| 定　　員 | 10 名／日 |
| 開　所　日 | ■月　■火　■水　■木　■金　■土（第 1・第 3）□日　■祝祭日<br>□その他（　　） |
| 利 用 時 間 | 放課後等デイサービス　　14:00(下校後)～17:30 |
| サービス提供区域 | 球磨全域 |
| 送迎の有無 | 児童発達支援事業　　有　／　無<br>放課後等デイサービス事業　　(有)　／　無 |
| 送迎の範囲 | 球磨全域 |
| 利用の方法<br>（児発のみ） | □家族（同伴）療育　　□単独（利用児のみ）療育<br>□その他（　　） |
| 学校長期休暇中の利用<br>（放デイのみ） | 活動時間　10:00～15:00 |
| 事業所の特色 | 【放課後等デイサービス】<br>・小集団の中で、遊びや制作活動・屋外活動等で経験を積み重ねながら、将来の選択肢につながる「きっかけ作りの場」を提供していきます。自分のツヨミや苦手を知ることで、得意分野を伸ばし自信につなげていきます。また､SST や LST などコミュニケーション力､生活力を身に付けるとともに、チームワークや働く体験を通して視野の広がりをサポートします。 |
| 一割負担以外の費用負担 | ■無　　□有 |

事業所名：　わくワーク広場おーぶ

**Q&A**

Q1　利用している子どもや児童生徒が取り組む主な活動内容と、その活動の目的を具体的に教えてください。（本人支援）

Ans. **〇運動療育…体幹を鍛え、発達の土台となる身体面を整えます。**
**〇創作・作業的活動…「好き」「楽しい」から始まる想像力、独創性などを大切にしながら、集中して取り組む時間を楽しみ、豊かな心を育むことができるようサポートします。**
**〇集団療育…小集団での遊びやこども会議を行い、ルールやマナー、他者を思いやる心や行動を一緒に考えていきます。**
**〇個別療育…一人一人に応じてスケジュールや活動内容を提供します。コミュニケーションツール等を提案したり、一緒に実践しながらスモールステップで取り組みます。**
**〇SST（ソーシャルスキルトレーニング）…お子様の特性等に合わせて、自分自身がよりよく生きていくスキルとしてレベルアップさせながら､周囲の人との関わり方を知り､実践できるよう支援します。**
**〇野外活動…アウトドアや災害時に必要なスキルを身に付けます。道具の使い方を覚えたり、実践で工夫する力を育みます。また、非日常的な体験や自然と触れ合う機会を作り、視野を広げるきっかけ作りを行います。**

Q2　就学や進学､また在園･在学中や事業所の変更の際等に何かしらの支援をしていただけますか？もし実施されている場合、具体的に教えてください。（移行支援）

Ans.
**・就学や進学の場合は、保護者の同意の上、ご本人の特性や療育の内容や様子等の情報提供を行います。**
**・サポートブックを作成し、必要な情報と共にご本人の好きなこと等を伝えるツールとして活用します。**
**・事業所等の変更の場合は、見学などに付き添い環境を保護者・本人と一緒に確認します。**
**変更が決定した場合は、変更先の事業所等に保護者の同意の上、情報提供を行います。**

Q3　家族が安心して子育てをおこなうことができるための取り組みとして、家族が学ぶ機会や相談する機会はありますか？具体的に教えてください。（家族支援）

Ans.
**･ペアレントトレーニング…保護者の方自身が､お子様の行動に肯定的に注目するスキルを獲得することで、お子様の行動やお子様との関係の改善を目指します。（５回シリーズ）**
**・相談等は、電話・対面等で随時受け付け。まずは、保護者の二―ズや悩み事などを聞き取ります。療育の様子や学校現場等の情報を収集し共有しながら、家でできることはなにか、周囲の環境調整で改善できるかなどを一緒に考えます。**

Q4　利用している子どもや児童生徒が地域で安心して生活ができるよう、所属する園や学校の先生からの相談等を受けていただくことは可能ですか？これまでの取り組み例があれば教えてください。（地域支援）

Ans.
**学校の先生からのご相談があった時は、保護者の同意の上でご家庭、学校、関係機関、事業所と会議を重ね、よりよい支援につなげられるよう連携を図る。また、民間団体で学習支援などを行っておられるところなど社会資源を活用しながら、ご家庭の課題解決等含めて様々なサポートを受けやすい環境づくりを行う。**

Q5　職員は様々な研修等を受けていると思いますが、こども総合療育センターや発達障がい者支援センター等の公的機関が実施している研修への参加状況を教えてください。（令和７年度中）

Ans. **なし**

令和８年（2026 年）７月１日現在

| 事業所名 | 多機能型事業所けやき | ■児発　□訪問<br>■放デイ |
|---|---|---|
| 見学・相談等担当者 | 岡本　美保　（児童発達支援管理責任者） | |

【基本情報】

| | |
|---|---|
| 住　　所 | 人吉市合ノ原町４６１番地２ |
| 電話／ＦＡＸ | 0966-35-7778　／　0966-22-7062 |
| ＨＰアドレス | http://shiyukai-keyaki.sakura.ne.jp/ |
| 管　理　者 | 小西　文吾 |
| 職員有資格<br>（　■常勤　☑非常勤　） | ■保育士　■児童指導員　☑医師　■看護師　□心理士<br>■理学療法士　□作業療法士　□言語聴覚士　■介護福祉士<br>□社会福祉士　□精神保健福祉士　□その他（　　） |



【活動内容】

基本的なカリキュラム

★児童発達支援　（個別療育 10:30～11:30・グループ療育 10:30～11:30）

| 登所 | 朝の準備 | 排泄 | 個別・集団 | 排泄・昼食　午睡・個別活動 | 排泄・水分 | 降所 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 10:30 | | 10:40 | | 11：30　13：30　14：30 | | 15:30～17:30 |

★放課後等デイサービス

| 登所 | | | | 個別課題・リハビリ・集団活動 | | 降所 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 10:30 | | | | 16:00 | | 17:30 |

| | |
|---|---|
| 定　　員 | ５名／日 |
| 開　所　日 | ■月　■火　■水　■木　■金　□土　□日　■祝祭日<br>□その他（　　） |
| 利 用 時 間 | 児童発達支援　9：00～17：30<br>放課後等デイサービス　9：00～17：30 |
| サービス提供区域 | 人吉球磨全域 |
| 送迎の有無 | 児童発達支援事業　（有）／　無<br>放課後等デイサービス事業　（有）／　無 |
| 送迎の範囲 | 人吉球磨全域 |
| 利用の方法<br>（児発のみ） | □家族（同伴）療育　■単独（利用児のみ）療育<br>□その他（　　） |
| 学校長期休暇中の利用<br>（放デイのみ） | 9:00 から受け入れ |
| 事業所の特色 | ・主に重症心身障害児および医療的ケア児を対象とした通所支援を提供しています。<br>・送迎には看護師が同乗します。<br>・理学療法士が常勤しており、一人ひとりに合わせたリハビリテーションを実施しています。 |
| 一割負担以外の費用負担 | □無　■有（　食事代、創作活動費代） |

事業所名：　多機能型事業所けやき

**Q&A・**

Q1　利用している子どもや児童生徒が取り組む主な活動内容と、その活動の目的を具体的に教えてください。（本人支援）

Ans.・**基礎疾患や障害特性を理解し、安全に過ごす事を目的としながらも、体調に配慮しながら離床を促したり、残存機能を活かした活動を行っています。**
・**仰臥位の経験、端座位の経験、上肢遊び、立位や歩行等のリハビリを、遊びを交えながら促し、身体の使い方を学ぶことを目的としています。**
・**トランポリンやスイングなどの活動を通して上下、前後などに動いたり揺れを感じさせる運動遊びを行う事で、感覚機能の苦手な部分を伸ばしていく為に、感覚統合を促す遊びを取り入れています。**
・**出来そうな身辺自立等を見つけ獲得するために、同じような内容、方法で保護者の方と無理なく取り組んでいきます。（トイレトレーニング、食事摂取方法、座位時の姿勢、ルールなど）**
・**上記内容は保護者のニーズ調査を元に個別支援課題の設定を行い、一人一人の状態に合わせたメニューを個別で、人への興味、関わり方、ルール等を覚えたり、感じたりする経験を小人数での集団遊びの中で行っています。**

Q2　就学や進学、また在園・在学中や事業所の変更の際等に何かしらの支援をしていただけますか？もし実施されている場合、具体的に教えてください。（移行支援）

Ans.・**ご家族の同意のもと、各関係機関と連携し、支援内容や配慮事項を共有します。**
・**これまでの取り組みや、効果的だったアプローチ方法をまとめたサポートブックや個別支援計画書の共有を行います。**
・**事業所内での様子を直接確認して、対象児童への理解を深めていただきます。**
・**関係機関との情報共有会議へ参加します。**

Q3　家族が安心して子育てをおこなうことができるための取り組みとして、家族が学ぶ機会や相談する機会はありますか？具体的に教えてください。（家族支援）

Ans.・**事業所での様子を共有しながら、家庭での関わり方や悩みを個別に相談できます。必要に応じて各関係機関との連携を図ります。**
・**茶話会を開き、相互交流や情報交換ができる交流会を開催します。**

Q4　利用している子どもや児童生徒が地域で安心して生活ができるよう、所属する園や学校の先生からの相談等を受けていただくことは可能ですか？これまでの取り組み例があれば教えてください。（地域支援）

Ans　・**園での情報や事業所での取り組み内容を共有する為に情報交換の機会を設けています。**
・**園からの要望内容に応じて、それぞれの専門職が園へ訪問を行っています。**
・**課題によっては家族、園、事業所で協議の場を設けています。**

Q5　職員は様々な研修等を受けていると思いますが、こども総合療育センターや発達障がい者支援センター等の公的機関が実施している研修への参加状況を教えてください。（令和 7 年度中）

Ans　・**熊本県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者専門コース別研修【障害児支援】**
**【意思決定支援】**
・**理学療法士の役割と活動の実際**
・**安定した体と使いやすい手に育てる活動**
・**大学生活のサポートを考える**
・**熊本県障害者虐待防止・権利擁護研修**

令和 8 年（2026 年）7 月 1 日現在

| 事業所名 | ぴーすクラブ | ■児発　□訪問<br>■放デイ |
|---|---|---|
| 見学・相談等担当者 | 山本　恭正（管理者） | |

【基本情報】

| | |
|---|---|
| 住　　所 | 熊本県球磨郡あさぎり町免田西 2460 番地 1 |
| 電話／ＦＡＸ | 0966-45-0778　／　0966-45-0778 |
| ＨＰアドレス | http://www.lifeup55.com |
| 管　理　者 | 山本　恭正 |
| 職員有資格<br>（　■常勤　☑非常勤　） | ■保育士　■児童指導員　□医師　□看護師　□心理士<br>□理学療法士　■作業療法士　□言語聴覚士　□介護福祉士<br>□社会福祉士　□精神保健福祉士　□その他（　　） |



【活動内容】

基本的なカリキュラム

★児童発達支援　（グループ療育 10:00～10:40・個別療育 10:40～10:55）

| 登所 | 健康チェック | グループ活動 | 個別活動 | 自由遊び | 帰りの会 | 降所 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 10:00 | | | 10:40 | 11:00 | 11:25 | 11:30 |

★放課後等デイサービス

| 登所 | 健康チェック・おやつ | 宿題 | 個別活動・自由遊び | グループ活動 | 帰りの会 | 降所 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 13:00～16:10 | （10 分） | （20 分） | （20 分～40 分） | （20 分） | （5 分） | 17:30 |

| | |
|---|---|
| 定　　員 | 10 名／日 |
| 開　所　日 | ■月　■火　■水　■木　■金　■土　□日　■祝祭日<br>□その他（　　） |
| 利 用 時 間 | 児童発達支援　10：00～12：00<br>放課後等デイサービス　13：00～17：30 |
| サービス提供区域 | 人吉球磨全域 |
| 送迎の有無 | 児童発達支援事業　（有）／　無<br>放課後等デイサービス事業　（有）／　無 |
| 送迎の範囲 | サービス提供区域と同じ |
| 利用の方法<br>（児発のみ） | □家族（同伴）療育　□単独（利用児のみ）療育<br>■その他（基本的には利用児童のみ。月一回母子通所あり） |
| 学校長期休暇中の利用<br>（放デイのみ） | 常時 10:00～15:00　(延長支援)15：00-17：30 |
| 事業所の特色 | 当事業所では、「楽しむことから学びを広げ、子どもたちの成長につなげる」という理念のもと、一人ひとりの得意なことや興味・関心を活かした支援を行っています。個別活動やグループ活動を通して、楽しみながら経験を積み、社会性や自信を育みます。また、ご家庭や学校と連携し、お子様に合った支援方法や支援ツールを取り入れながら、一貫した支援を行い、子どもたちの成長を支えています。 |
| 一割負担以外の費用負担 | □無■有（おやつ代一日６０円×支給量、活動費） |

事業所名 ： ぴーすクラブ

**Q&A**

Q1 利用している子どもや児童生徒が取り組む主な活動内容と、その活動の目的を具体的に教えてください。(本人支援)

Ans.

**学習課題では、20 分程度集中して取り組める環境を整え、一人ひとりに合った支援を行っています。個別活動では、子どもの興味や好きなことを取り入れ、楽しみながら参加意欲や自信を育みます。小集団・グループ活動では、話し合いやルール作り、ローテーション活動を通して、コミュニケーション能力や社会性、集団参加に必要な力を身につけられるよう支援しています。**

Q2 就学や進学、また在園・在学中や事業所の変更の際等に何かしらの支援をしていただけますか？もし実施されている場合、具体的に教えてください。(移行支援)

Ans.

**就学や進学、事業所変更時には、移行支援シートや情報提供書を作成し、関係機関へ必要な情報を共有しています。また、就学先の見学同行や会議への参加を行い、一人ひとりに応じた切れ目のない支援が行えるよう連携しています。**

Q3 家族が安心して子育てをおこなうことができるための取り組みとして、家族が学ぶ機会や相談する機会はありますか？具体的に教えてください。(家族支援)

Ans.

**ご家族が安心して子育てができるよう、電話や LINE で困りごとや不安について随時相談を受けています。また、HUG（ハグ）を活用し、個別支援計画やサービス提供記録をいつでも確認できる環境を整え、ご家庭と情報を共有しながら継続的な支援を行っています。**

Q4 利用している子どもや児童生徒が地域で安心して生活ができるよう、所属する園や学校の先生からの相談等を受けていただくことは可能ですか？これまでの取り組み例があれば教えてください。(地域支援)

Ans.

**園や学校からの相談にも対応しており、ケース会議へ参加しながら情報共有を行っています。ご家庭・学校・ぴーすクラブが連携し、それぞれの役割を確認しながら、一人ひとりに合った継続的な支援を行っています。**

Q5 職員は様々な研修等を受けていると思いますが、こども総合療育センターや発達障がい者支援センター等の公的機関が実施している研修への参加状況を教えてください。(令和 7 年度中)

Ans.

**障がい者支援協会　療育関連研修(定期１か月－２か月に一回)　6 名参加**
**強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）2 名参加**

令和８年（2026 年）７月１日現在

| 事業所名 | 放課後等デイサービス　るみね | □児発　□訪問<br>■放デイ |
|---|---|---|
| 見学・相談等担当者 | 米原　勇（管理者兼児童発達支援管理責任者） | |

【基本情報】

| | |
|---|---|
| 住　　所 | 球磨郡あさぎり町須恵字北瀬 620-2 |
| 電話／ＦＡＸ | 0966-45-8323　／　0966-45-8323 |
| ＨＰアドレス | |
| 管　理　者 | 米原　勇 |
| 職員有資格<br>（　■常勤　☑非常勤　） | □保育士　■児童指導員　□医師　□看護師　□心理士<br>□理学療法士　□作業療法士　□言語聴覚士　□介護福祉士<br>□社会福祉士　□精神保健福祉士　□その他（　　） |



【活動内容】

基本的なカリキュラム

★放課後等デイサービス（平日）

| 登所 | 手洗い・うがい | おやつ | 学習 | 個別課題 | 読書 | 自由時間 | 掃除 | 帰りの準備 | 降所 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

14:00　　17:30

★放課後等デイサービス（学校休業日等）

| 登所 | 手洗い<br>うがい | 学習 | 個別<br>課題 | 読書 | 自由<br>時間 | 昼食 | グループ<br>活動 | おやつ | 帰りの<br>準備 | 降所 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

10：00　　12：00　　15：00

| | |
|---|---|
| 定　　員 | 10 名／日 |
| 開　所　日 | ■月　■火　■水　■木　■金　□土　□日　□祝祭日<br>□その他（　　） |
| 利 用 時 間 | 放課後等ディサービス（平日）　14：00～17：30<br>放課後等デイサービス（学校休業日等）　10：00～15：00 |
| サービス提供区域 | 人吉市・球磨郡（山江村・錦町・あさぎり町・相良村・多良木町・湯前町・水上村） |
| 送迎の有無 | ~~児童発達支援事業　有　／　無~~<br>放課後等デイサービス事業　㊧　／　無 |
| 送迎の範囲 | 人吉市・球磨郡（山江村・錦町・あさぎり町・相良村・多良木町・湯前町・水上村） |
| 利用の方法<br>（児発のみ） | □家族（同伴）療育　□単独（利用児のみ）療育<br>□その他（　　） |
| 学校長期休暇中の利用<br>（放デイのみ） | 月曜日～金曜日　10：00～15：00　で利用可能（祝日を除く） |
| 事業所の特色 | ・今、困っている事や、つまずいている事の個別支援や、屋外活動や公共施設等への見学を取り入れ、社会性を学ぶ場を設定している。<br>・子どもに対する保護者の願いや期待に応えるべく、安心して日々の生活を送れる様に、小さな事でも支援して行きます。 |
| 一割負担以外の費用負担 | □無　■有（　おやつ代　５０円/日　） |

事業所名：　放課後等デイサービス　るみね

**Q&A**

Q1　利用している子どもや児童生徒が取り組む主な活動内容と、その活動の目的を具体的に教えてください。（本人支援）

Ans.

**利用児童一人一人の発達の状態や特性に応じて、保護者の願いを聞き入れながら、今現在の困り感や不安を和らげていける様に支援しています。**
**児童の特化する部分を見出すことにより、どのように現代社会で通用するか、自信を持って行動出来る様、ソーシャルスキルトレーニングや体験などを実施しております。**

Q2　就学や進学、また在園・在学中や事業所の変更の際等に何かしらの支援をしていただけますか？もし実施されている場合、具体的に教えてください。（移行支援）

Ans.

**致します。**
**児童発達支援を行っていない為、未就学児に関しましては在園の先生方や事業所、相談員の方との連絡調整を密に行っています。**
**また、就学や進学に関しましても同様、相談員の方や関係機関の方々とお話し出来る場を設け、就学や移行事業所への情報提供を致します。**

Q3　家族が安心して子育てをおこなうことができるための取り組みとして、家族が学ぶ機会や相談する機会はありますか？具体的に教えてください。（家族支援）

Ans.

**学校やご家庭で、お子様のご心配事がある時には、電話や事業所での相談を受けております。**
**保護者の思いを受け止め、どのように対処していくか一緒に考えております。**

Q4　利用している子どもや児童生徒が地域で安心して生活ができるよう、所属する園や学校の先生からの相談等を受けていただくことは可能ですか？これまでの取り組み例があれば教えてください。（地域支援）

Ans.

**可能です。**
**事業所での様子や、どのような支援をしているかを記載した用紙を学校や保育園にお渡しして情報を共有しております。学校で先生やコーディネーターの先生方とお話の場を設けてもらい、より一層の方向性の統一を図っております。**

Q5　職員は様々な研修等を受けていると思いますが、こども総合療育センターや発達障がい者支援センター等の公的機関が実施している研修への参加状況を教えてください。（令和 7 年度中）

Ans.

**参加が出来てないので、今後は積極的に参加していきたいと思います。**

令和８年（2026 年）７月１日現在

| 事業所名 | 発達支援ルーム LSJ KUMA | ■児発　□訪問<br>■放デイ |
|---|---|---|
| 見学・相談等担当者 | 藤岡　さゆり　（エリアマネージャー） | |

【基本情報】

| | |
|---|---|
| 住　　所 | 球磨郡湯前町 2626-1 |
| 電話／ＦＡＸ | 0966-43-3327　／　0966-43-3328 |
| ＨＰアドレス | http://www.lsj-kumamoto.co.jp/ |
| 管　理　者 | 椎葉　千夏 |
| 職員有資格<br>（　■常勤　☑非常勤　） | ■保育士　■児童指導員　□医師　□看護師　□心理士<br>□理学療法士　□作業療法士　□言語聴覚士　□介護福祉士<br>□社会福祉士　□精神保健福祉士　□その他（　　） |



【活動内容】

基本的なカリキュラム

★児童発達支援　（個別療育 9:00～10:00・グループ療育 10:00～12:00）

| 登所 | 健康チェック | 軸体操 | 複合運動 | サーキット | 机上活動 | 降所 |
|---|---|---|---|---|---|---|

9：30　　10：00　　11：00

★放課後等デイサービス

| 登所 | 健康チェック | 個別課題・SST・書写・読書 | おやつ | 運動（粗大運動･サーキット） | 自由遊び | 降所 |
|---|---|---|---|---|---|---|

14：00　　15：30　　17：30

| | |
|---|---|
| 定　　員 | 10 名／日 |
| 開　所　日 | ■月　■火　■水　■木　■金　■土　□日　□祝祭日<br>□その他（　　） |
| 利 用 時 間 | 児童発達支援　　9：30～11：00　13：30～15：00<br>放課後等デイサービス　14：30～18：00 |
| サービス提供区域 | 人吉球磨全域・西米良村 |
| 送迎の有無 | 児童発達支援事業　　㊒　／　無<br>放課後等デイサービス事業　　㊒　／　無 |
| 送迎の範囲 | 人吉球磨全域・西米良村 |
| 利用の方法<br>（児発のみ） | ■家族（同伴）療育　■単独（利用児のみ）療育<br>□その他（　　） |
| 学校長期休暇中の利用<br>（放デイのみ） | 10:00～17：00 |
| 事業所の特色 | 感覚統合・運動器具を使った運動・学習支援・SST 等 |
| 一割負担以外の費用負担 | ■無　□有（　　） |

**Q&A**

Q1　利用している子どもや児童生徒が取り組む主な活動内容と、その活動の目的を具体的に教えてください。（本人支援）

Ans. **保護者様からのニーズによりモニタリングや担当者会議を元に個別支援計画を立て、課題や SST 等・を行っています。感覚統合などを踏まえて運動療育をいれ姿勢保持の苦手な子には体幹運動や複合運動などのバランスを鍛えるトレーニングを行うようにしています。指導員が１人でついて行ったり児童の組み合わせを考えながら集団でサーキットなどの運動にも取り組んでます。**
**机上の面ではそれぞれが特に苦手とするところを視覚支援なども用いて取り組むようにしています。年長児には身辺自立の面でも箸の持ち方や鉛筆の握り方など就学時に必要とされることを入れていってます。**

Q2　就学や進学、また在園・在学中や事業所の変更の際等に何かしらの支援をしていただけますか？もし実施されている場合、具体的に教えてください。（移行支援）

Ans. **就学時検診前の情報提供を行います。事業所での様子や支援内容の提示を必要に応じて行っております。**

Q3　家族が安心して子育てをおこなうことができるための取り組みとして、家族が学ぶ機会や相談する機会はありますか？具体的に教えてください。（家族支援）

Ans. **学校や自宅での困りごとなどは随時電話や事業所で相談の受付やその対応策を一緒に考えるなど面談を随時行っております。**
**必要に応じては母子見学を実施しております。保護者様に合わせて利用時間内で家族療育を行い保護者様と児童の関わり方などの相談やその対策などを提案していきます。**

Q4　利用している子どもや児童生徒が地域で安心して生活ができるよう、所属する園や学校の先生からの相談等を受けていただくことは可能ですか？これまでの取り組み例があれば教えてください。（地域支援）

Ans. **支援のコーディネーターの先生と情報共有を行い役場にて関係機関で話し合いを実施します。**
**町村独自の SSW からの要請を受け、保健センターや学校でのケース会議に参加します。**

Q5　職員は様々な研修等を受けていると思いますが、こども総合療育センターや発達障がい者支援センター等の公的機関が実施している研修への参加状況を教えてください。（令和 7 年度中）

Ans. **自閉症スペクトラム及び発達障害の特性について事業所全体で受けさせてもらいました。**

令和８年（2026 年）７月１日現在

| 事業所名 | はぴはうすポコ | ■児発　■訪問<br>■放デイ |
|---|---|---|
| 見学・相談等担当者 | 村田　有里（管理者） | |

【基本情報】

| | |
|---|---|
| 住　　所 | 球磨郡相良村柳瀬 2319 |
| 電話／ＦＡＸ | 0966-32-8686　／　0966-32-8687 |
| ＨＰアドレス | strength2014.com |
| 管　理　者 | 村田　有里 |
| 職員有資格<br>（　■常勤　☑非常勤　） | ■保育士　■児童指導員　□医師　□看護師　□心理士<br>□理学療法士　□作業療法士　■言語聴覚士　□介護福祉士<br>■社会福祉士　□精神保健福祉士　□その他（　　） |



【活動内容】

基本的なカリキュラム

★児童発達支援　（個別療育 10:35～10:50 ・グループ療育 9:30～11:00）

| 登所 | 健康チェック | 朝の会 | 運動療育（グループ療育） | 個別療育 | おやつ | 降所 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 9:30 | 9:40 | | | | | 11:00 |

★放課後等デイサービス

| 登所 | 健康チェック | 個別課題 | 導入 | 発達遊び・SST・選択活動等 | 片付け・帰りの会 | 降所 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 下校後 | | | 16:00 | | | 17:30 |

| | |
|---|---|
| 定　　員 | 10 名／日 |
| 開　所　日 | ■月　■火　■水　■木　■金　■土（第 1・第 3）□日　■祝祭日<br>□その他（　　） |
| 利 用 時 間 | 児童発達支援　9:30～11:00 / 13:00～14:00<br>放課後等デイサービス　14:00(下校後)～17:30 |
| サービス提供区域 | 人吉球磨全域 |
| 送迎の有無 | 児童発達支援事業　(有) ／ 無<br>放課後等デイサービス事業　(有) ／ 無 |
| 送迎の範囲 | 人吉球磨全域 |
| 利用の方法<br>（児発のみ） | ■家族（同伴）療育　■単独（利用児のみ）療育<br>□その他（　　） |
| 学校長期休暇中の利用<br>（放デイのみ） | 活動時間　10:00～16:00 |
| 事業所の特色 | 【児童発達支援】<br>・お子様の大好きな「あそび」が活動の中心です。遊びを通して無理なく体幹の向上と感覚統合を目指します。また個別療育、集団療育などお子様にあったプログラムを提供し、自立（のお手伝い）を支援していきます。<br>【放課後等デイサービス】<br>・小集団の中で、遊びや制作活動・屋外活動等で経験を積み重ねながら、将来の選択肢につながる「きっかけ作りの場」を提供していきます。自分のツヨミや苦手を知ることで、得意分野を伸ばし自信につなげていきます。また､SST や LST などコミュニケーション力､生活力を身に付けるとともに、チームワークや働く体験を通して視野の広がりをサポートします。 |
| 一割負担以外の費用負担 | ■無　　□有 |

事業所名：　はぴはうすポコ

**Q&A**

Q1　利用している子どもや児童生徒が取り組む主な活動内容と、その活動の目的を具体的に教えてください。（本人支援）

Ans. **〇運動療育…体幹を鍛え、発達の土台となる身体面を整えます。**
**〇創作・作業的活動…「好き」「楽しい」から始まる想像力、独創性などを大切にしながら、集中して取り組む時間を楽しみ、豊かな心を育むことができるようサポートします。**
**〇集団療育…小集団での遊びやこども会議を行い、ルールやマナー、他者を思いやる心や行動を一緒に考えていきます。**
**〇個別療育…一人一人に応じてスケジュールや活動内容を提供します。コミュニケーションツール等を提案したり、一緒に実践しながらスモールステップで取り組みます。**
**〇SST（ソーシャルスキルトレーニング）…お子様の特性等に合わせて、自分自身がよりよく生きていくスキルとしてレベルアップさせながら､周囲の人との関わり方を知り､実践できるよう支援します。**
**〇野外活動…アウトドアや災害時に必要なスキルを身に付けます。道具の使い方を覚えたり、実践で工夫する力を育みます。また、非日常的な体験や自然と触れ合う機会を作り、視野を広げるきっかけ作りを行います。**

Q2　就学や進学､また在園･在学中や事業所の変更の際等に何かしらの支援をしていただけますか？もし実施されている場合、具体的に教えてください。（移行支援）

Ans.
**・就学や進学の場合は、保護者の同意の上、ご本人の特性や療育の内容や様子等の情報提供を行います。**
**・サポートブックを作成し、必要な情報と共にご本人の好きなこと等を伝えるツールとして活用します。**
**・事業所等の変更の場合は、見学などに付き添い環境を保護者・本人と一緒に確認します。**
**変更が決定した場合は、変更先の事業所等に保護者の同意の上、情報提供を行います。**

Q3　家族が安心して子育てをおこなうことができるための取り組みとして、家族が学ぶ機会や相談する機会はありますか？具体的に教えてください。（家族支援）

Ans.
**･ペアレントトレーニング…保護者の方自身が､お子様の行動に肯定的に注目するスキルを獲得することで、お子様の行動やお子様との関係の改善を目指します。（５回シリーズ）**
**・相談等は、電話・対面等で随時受け付け。まずは、保護者のニ―ズや悩み事などを聞き取ります。療育の様子や学校現場等の情報を収集し共有しながら、家でできることはなにか、周囲の環境調整で改善できるかなどを一緒に考えます。**

Q4　利用している子どもや児童生徒が地域で安心して生活ができるよう、所属する園や学校の先生からの相談等を受けていただくことは可能ですか？これまでの取り組み例があれば教えてください。（地域支援）

Ans.
**学校の先生からのご相談があった時は､保護者の同意の上でご家庭､学校､関係機関､事業所と会議を重ね､よりよい支援につなげられるよう連携を図る。また、民間団体で学習支援などを行っておられるところなど社会資源を活用しながら、ご家庭の課題解決等含めて様々なサポートを受けやすい環境づくりを行う。**

Q5　職員は様々な研修等を受けていると思いますが、こども総合療育センターや発達障がい者支援センター等の公的機関が実施している研修への参加状況を教えてください。（令和７年度中）

Ans. **なし**

令和 8 年（2026 年）7 月 1 日現在

| 事業所名 | ファミリーサポートハウス　みりみり | ■児発　□訪問<br>■放デイ |
|---|---|---|
| 見学・相談等担当者 | 前村　美智子（管理者） | |

【基本情報】

| | | |
|---|---|---|
| 住　　所 | 人吉市上薩摩瀬町 1473-2 | 写真<br>（no photo） |
| 電話／ＦＡＸ | 0966-35-6366　／　0966-35-6367 | |
| ＨＰアドレス | | |
| 管　理　者 | 前村　美智子 | |
| 職員有資格<br>（　■常勤　☑非常勤　） | ■保育士　□児童指導員　□医師　□看護師　□心理士<br>□理学療法士　□作業療法士　□言語聴覚士　□介護福祉士<br>□社会福祉士　□精神保健福祉士　□その他（　　） | |

【活動内容】

基本的なカリキュラム

★児童発達支援　（個別療育・グループ療育 9：30～12:30）

| 登所 | サーキット | 個別・及びグループでの活動 | 降所 |
|---|---|---|---|
| 9:00～9:30 | | 9:30～12:30 | 12:30 |

★放課後等デイサービス

| 登所 | 個別療育・及びグループ療育 | 降所 |
|---|---|---|
| 13:30 | 13:30～17:00 | 17:00 |

| | |
|---|---|
| 定　　員 | 10 名／日 |
| 開　所　日 | ■月　■火　■水　■木　■金　□土　□日　□祝祭日<br>□その他（　　） |
| 利 用 時 間 | 児童発達支援　　9：00～12：30<br>放課後等デイサービス　13：30～17：00 |
| サービス提供区域 | 人吉球磨全域 |
| 送迎の有無 | 児童発達支援事業　　㊤／無<br>放課後等デイサービス事業　㊤／無 |
| 送迎の範囲 | 人吉球磨全域 |
| 利用の方法<br>（児発のみ） | ■家族（同伴）療育　■単独（利用児のみ）療育<br>□その他（　　） |
| 学校長期休暇中の利用<br>（放デイのみ） | 13：30 から受け入れ。お盆期間中は 10：00～16：00 |
| 事業所の特色 | 保護者の気持ちに寄り添いながら、一緒に子育てができる環境作りをしている。 |
| 一割負担以外の費用負担 | ■無　□有（　　） |

事業所名：　ファミリーサポートハウス　みりみり

**Q&A**

Q1　利用している子どもや児童生徒が取り組む主な活動内容と、その活動の目的を具体的に教えてください。（本人支援）

Ans.

**・構造化された環境の中で、個々の障がい特性に合わせた課題を提示している。**
**・就学に向け、必要な身辺自立等の獲得や生活リズムを整えるため、保護者の方と相談しながら、個々に合わせて取り組んでいる。**

Q2　就学や進学、また在園・在学中や事業所の変更の際等に何かしらの支援をしていただけますか？もし実施されている場合、具体的に教えてください。（移行支援）

Ans.

**・就学時健診前の視覚的手順書の作成準備、就学先の学校との連絡調整。**
**・就学先、移行事業所先への情報提供や話し合いの機会を相談員や保健師と一緒に行っている。**

Q3　家族が安心して子育てをおこなうことができるための取り組みとして、家族が学ぶ機会や相談する機会はありますか？具体的に教えてください。（家族支援）

Ans.

**・親子通所を基本としている為、いつでも相談にのれるようにしている。電話での相談もいつでも受けている。**
**・保護者の方の集いをしながら、子ども達をよく知ってもらう為の勉強会を実施している。**
**・サポートブック作成を通した、ご家族の更なる我が子理解への支援。**

Q4　利用している子どもや児童生徒が地域で安心して生活ができるよう、所属する園や学校の先生からの相談等を受けていただくことは可能ですか？これまでの取り組み例があれば教えてください。（地域支援）

Ans.

**・通っている園や学校へ出向いたり、電話で相談を受けたりなど一緒に考える機会を設けている。**

Q5　職員は様々な研修等を受けていると思いますが、こども総合療育センターや発達障がい者支援センター等の公的機関が実施している研修への参加状況を教えてください。（令和 7 年度中）

Ans.

**・県からの講演会のお知らせがあれば、可能な限り参加するようにしている。**
**・県及び発達支援センター等の講演会は全員で参加した。**

令和８年（2026 年）７月１日現在

| 事業所名 | 放課後等デイサービス　LSJ　TARAGI | □児発　□訪問<br>■放デイ |
|---|---|---|
| 見学・相談等担当者 | 藤岡　さゆり（エリアマネージャー） | |

【基本情報】

| | |
|---|---|
| 住　　所 | 球磨郡多良木町大字多良木 1285 番地 |
| 電話／ＦＡＸ | 0966-35-6058　／　0966-35-6057 |
| ＨＰアドレス | http://www.lsj-kumamoto.co.jp/ |
| 管　理　者 | 多良木　芳美 |
| 職員有資格<br>（　■常勤　☑非常勤　） | ■保育士　■児童指導員　□医師　□看護師　□心理士<br>□理学療法士　□作業療法士　□言語聴覚士　■介護福祉士<br>□社会福祉士　□精神保健福祉士　□その他（　　） |



【活動内容】

基本的なカリキュラム

★放課後等デイサービス（平日）

| 登所 | 検温<br>体調確認 | 手洗い<br>うがい等 | 個別課題・SST・点描写・読書 | おやつ | 小集団活動・自由時間 | 降所 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 15:00 | | | 15：30 | 16：30 | 16：45 | 18：00 |

★放課後等デイサービス（学休日）

| 登所 | 検　温<br>体調確認 | 手洗い<br>うがい等 | 個別課題・<br>SST・点描写・<br>読書 | 小集団活動<br>自由時間 | 昼食 | 掃除 | 小集団活動 | おやつ | 小集団活動<br>自由時間 | 降所 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ９：３０ | | | 10：30 | 11：30 | 12：00 | 13：00 | 13：30 | 15：00 | 15：30 | 16:30 |

| | |
|---|---|
| 定　　員 | 10 名／日 |
| 開　所　日 | ■月　■火　■水　■木　■金　■土　□日　□祝祭日<br>□その他（　　） |
| 利 用 時 間 | 放課後等デイサービス（平日）　１４：３０～18：００<br>放課後等デイサービス（学休日）　９：３０～１６：３０ |
| サービス提供区域 | 人吉球磨全域 |
| 送迎の有無 | <br>放課後等デイサービス事業　（有）／　無 |
| 送迎の範囲 | 人吉球磨全域 |
| 利用の方法<br>（児発のみ） | □家族（同伴）療育　□単独（利用児のみ）療育<br>□その他（　　） |
| 学校長期休暇中の利用<br>（放デイのみ） | ９：３０～１６：３０ |
| 事業所の特色 | 学習支援・個別支援・SST・月イチ Café イベント |
| 一割負担以外の費用負担 | □無　■有（　おやつ代１食 50 円　） |

**Q&A**

Q1 利用している子どもや児童生徒が取り組む主な活動内容と、その活動の目的を具体的に教えてください。(本人支援)

Ans.

**・個々にあったプリント学習（苦手分野の克服・得意分野の向上）**
**・小集団活動（集団行動・協調性・コミュニケーション力）**
**・身辺自立の獲得や社会スキルを身に付けるために SST やロールプレイなどを実施している**

Q2 就学や進学､また在園･在学中や事業所の変更の際等に何かしらの支援をしていただけますか？もし実施されている場合、具体的に教えてください。(移行支援)

Ans.

**・移行事業所先への情報提供**

Q3 家族が安心して子育てをおこなうことができるための取り組みとして、家族が学ぶ機会や相談する機会はありますか？具体的に教えてください。(家族支援)

Ans.

**・定期的な面談や送迎時に日々の様子をお伝えし、成功体験などの情報提供を行っている**
**・自宅での困りごとなどがあるときは、事業所へ連絡を頂き一緒に支援方法を考えている**

Q4 利用している子どもや児童生徒が地域で安心して生活ができるよう、所属する園や学校の先生からの相談等を受けていただくことは可能ですか？これまでの取り組み例があれば教えてください。(地域支援)

Ans.

**・ワンタッチ登校をしている児童の対し、昼間通所を促し事業所でその子に適したスケジュールに取り組んでもらい、少しでも社会へ送り出せるようサポート行っている**
**・朝から登校できなかった児童に対し、午前中事業所へ来所を促し、個別対応にて気持ちの安定を図っている。切り替えができ次第学校へお連れするといった支援も行っている。**

Q5 職員は様々な研修等を受けていると思いますが、こども総合療育センターや発達障がい者支援センター等の公的機関が実施している研修への参加状況を教えてください。(令和 7 年度中)

Ans.

令和８年（2026 年）７月１日現在

| 事業所名 | ぴーすクラブ　2nd | □児発　■訪問<br>■放デイ |
|---|---|---|
| 見学・相談等担当者 | 山本　京華（管理者） | |

【基本情報】

| | |
|---|---|
| 住　　所 | 球磨郡あさぎり町免田西 2460 番地 2 |
| 電話／ＦＡＸ | 0966-45-6822　／　0966-45-6822 |
| ＨＰアドレス | http://www.lifeup55.com |
| 管　理　者 | 山本　京華 |
| 職員有資格<br>（　■常勤　☑非常勤　） | ■保育士　■児童指導員　□医師　□看護師　□心理士<br>□理学療法士　□作業療法士　□言語聴覚士　□介護福祉士<br>□社会福祉士　□精神保健福祉士　□その他（　　） |




【活動内容】

基本的なカリキュラム

★保育所等訪問支援　（9:00～11:00）

| 訪問にて活動・授業の様子観察、支援→担当者へフィードバック | 終了 |
|---|---|

9：00　　11:00

★放課後等デイサービス

| 登所 | 健康チェック | 個別課題・SST・体幹トレーニング・サーキット活動等 | 降所 |
|---|---|---|---|

11:00～15:15　　15:30　　17:30

| | |
|---|---|
| 定　　員 | 10 名／日 |
| 開　所　日 | ■月　■火　■水　■木　■金　■土　□日　■祝祭日<br>□その他（　　） |
| 利 用 時 間 | 放課後等デイサービス　11：00～17：30<br>保育所等訪問支援　9：00～11：00 |
| サービス提供区域 | あさぎり町、錦町、多良木町「全域」相良村「南小校区・北小校区」 |
| 送迎の有無 | 放課後等デイサービス事業　（有）／　無 |
| 送迎の範囲 | サービス提供区域と同じ |
| 利用の方法<br>（児発のみ） | □家族（同伴）療育　□単独（利用児のみ）療育<br>□その他（　　） |
| 学校長期休暇中の利用<br>（放デイのみ） | 常時、10：00-15：00、延長支援(15：00-17：30) |
| 事業所の特色 | ・保育所等訪問支援では、学校や家庭など事業所以外の生活場面における困り感に対し､放課後等デイサービスでの様子も踏まえた一人ひとりに応じた支援を行い、子どもや保護者が安心して生活・活動できるようサポートしています。<br>また、放課後等デイサービス卒業後も訪問支援を活用した段階的な移行支援を行い、安心して卒業を迎えられるよう支援しています。<br>・放課後等デイサービスでは、季節行事や施設内イベントを定期的に実施し､「楽しみながら学ぶ」を大切にした個別・小集団・集団活動を通して、子どもたちの興味・関心や得意なことを育み、自信へとつなげる支援を行っています。 |
| 一割負担以外の費用負担 | □無　■有（おやつ代一日 60 円×支給量、活動費） |

事業所名：ぴーすクラブ 2nd

**Q&A**

| |
|---|
| Q1　利用している子どもや児童生徒が取り組む主な活動内容と、その活動の目的を具体的に教えてください。（本人支援） |

Ans.

**放課後は、ローテーション活動や個別活動を中心に、一人ひとりに合った支援を行っています。時間を意識して活動を切り替え、小集団活動を通してコミュニケーション能力や社会性を育みます。レクリエーションでは、ゲームや SST、感覚統合、製作などを共通のルールのもとで行い、集団活動への参加や協調性を養います。また、季節イベントでは様々な体験を通して興味・関心を広げるとともに、日頃の学びを実践し、成功体験につなげられるよう支援しています。**

| |
|---|
| Q2　就学や進学、また在園・在学中や事業所の変更の際等に何かしらの支援をしていただけますか？もし実施されている場合、具体的に教えてください。（移行支援） |

Ans.

**就学や進学、事業所変更時には、本人や保護者と一緒にサポートブックを作成し、必要な情報を整理・共有しています。また、新しい環境へ安心して移行できるよう、見学や体験の機会を設定し、必要に応じて同行・参加しています。情報提供書の作成や関係機関との会議への参加を通して、一人ひとりに合わせた継続的な支援を行っています。**

| |
|---|
| Q3　家族が安心して子育てをおこなうことができるための取り組みとして、家族が学ぶ機会や相談する機会はありますか？具体的に教えてください。（家族支援） |

Ans.

**ご家族が安心して子育てを行えるよう、アプリを活用して活動記録やお便りを共有しています。支援記録には写真を添え、活動の様子や支援内容を分かりやすく伝えています。また、コメント機能や LINE での連絡体制を整え、日々の困りごとや相談に気軽に対応できる環境を提供しています。**

| |
|---|
| Q4　利用している子どもや児童生徒が地域で安心して生活ができるよう、所属する園や学校の先生からの相談等を受けていただくことは可能ですか？これまでの取り組み例があれば教えてください。（地域支援） |

Ans.

**園や学校との連携を大切にし、会議への参加や情報共有を行っています。長期休暇中の様子や事業所での支援内容を共有するほか、学校の先生や保護者の方に事業所見学の機会を設けています。また、保育所等訪問支援を活用し、児童の特性に合わせた環境設定や関わり方について情報提供を行い、地域で安心して生活できるよう連携した支援を行っています。**

| |
|---|
| Q5　職員は様々な研修等を受けていると思いますが、こども総合療育センターや発達障がい者支援センター等の公的機関が実施している研修への参加状況を教えてください。（令和７年度中） |

Ans.

**【熊本県障がい者支援課】障害者虐待防止・権利擁護研修　１名参加**
**強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）２名参加**
**障がい児支援協会　療育関連研修(定期一か月～二か月に二回)　５名参加**

令和８年（2026 年）７月１日現在

| 事業所名 | ねいろ | ■児発　□訪問<br>■放デイ |
|---|---|---|
| 見学・相談等担当者 | 椎葉　梨佳（管理者兼児童発達支援管理責任者） | |

【基本情報】

| | |
|---|---|
| 住　　所 | 球磨郡多良木町久米 2897-2 |
| 電話／ＦＡＸ | 0966-32-8611　／　0966-32-8611 |
| ＨＰアドレス | |
| 管　理　者 | 椎葉　梨佳 |
| 職員有資格<br>（　■常勤　☑非常勤　） | ■保育士　■児童指導員　□医師　□看護師　□心理士<br>□理学療法士　□作業療法士　□言語聴覚士　□介護福祉士<br>□社会福祉士　□精神保健福祉士　□その他（　　） |



【活動内容】

基本的なカリキュラム

★児童発達支援

| 来所 | 検温・トイレ | 先生とお勉強 | 個別課題 | 軽運動 | 小グループ活動 | 帰所 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 9:35～9:50 | | | | 11:00 | | 11:30 |

★放課後等デイサービス

| 来所 | 検温・トイレ | おやつ | 学習・個別課題・軽運動 | 先生とお勉強 | 小グループ活動 | 帰所 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 15:00～16:20 | | | | | 17:00 | 17:30 |

| | |
|---|---|
| 定　　員 | 通じて 10 名／日 |
| 開　所　日 | ■月　■火　■水　■木　■金　■土　□日　□祝祭日<br>□その他（　　） |
| 利 用 時 間 | 児童発達支援…月～金 9：30～12：00<br>放課後等デイサービス…平日 15：00～17：30・休業日 11:00～16:00<br>※延長支援あり |
| サービス提供区域 | 球磨郡全域 |
| 送迎の有無 | 児童発達支援事業　　㊒／無<br>放課後等デイサービス事業　　㊒／無 |
| 送迎の範囲 | 球磨郡一円 |
| 利用の方法<br>（児発のみ） | □家族（同伴）療育　　■単独（利用児のみ）療育<br>■その他（母子療育　1 回/月） |
| 学校長期休暇中の利用<br>（放デイのみ） | 10:00～送迎開始の受け入れ、（延長支援有り）17:00 帰所 |
| 事業所の特色 | （児童発達支援）<br>お子さん一人一人の発達に合わせた丁寧な療育を心がけています。身辺自立面の支援を中心に取り組み、就学に向けて少しでも一人で出来る事を増やせるよう療育を行っています。<br>（放課後等デイサービス）<br>一人一人に合わせたスケジュールや課題を提供し、身辺自立やソーシャルスキルアップに繋げる療育を中心に行っています。 |
| 一割負担以外の費用負担 | □無　　■有（放デイ：おやつ代　50 円/日、その他） |

事業所名：児童発達支援・放課後等デイサービス事業所　ねいろ

**Q&A**

Q1　利用している子どもや児童生徒が取り組む主な活動内容と、その活動の目的を具体的に教えてください。（本人支援）

Ans.

**・個別支援計画に基づいた療育を中心に行っています。**
**・言葉の療育（SST、認知発達を促す個別課題を取り入れコミュニケーション力の向上を図る）**
**・自立支援（日常生活に必要なスキルを身につけられるように課題や活動、職員とのお勉強で学んでもらう）**
**・コミュニケーションの育成（子ども同士・大人との会話を通じ、言葉遣いや喜怒哀楽の表現や人間関係を広げる力を学んでもらう）**
**・屋外活動（療育の中で学んだ事を、公共の場で体験・経験できるように活動を取り入れている）**

Q2　就学や進学、また在園・在学中や事業所の変更の際等に何かしらの支援をしていただけますか？もし実施されている場合、具体的に教えてください。（移行支援）

Ans.

**・移行事業所先での会議等で情報提供を行います。**

Q3　家族が安心して子育てをおこなうことができるための取り組みとして、家族が学ぶ機会や相談する機会はありますか？具体的に教えてください。（家族支援）

Ans.

**・事業所内相談の実施を行っています。**
**・電話や送迎時に相談を受けた際は、その場で可能な助言等を行っています。難しい場合は一旦事業所内ミーティングを行い改めてお伝えしたり、事業所内で取り組んでいる指示・手順書等を提供しご家庭でも活用していただく事もあります。**
**・児童発達支援では母子療育として月１回ご家族も来所していただいています。**
**・放課後等デイサービスご利用児も、ご要望や必要に応じて親子療育を行っています。事業所での様子や職員の支援観察、ご家庭での様子や困り感等の聞き取りや助言等も行っています。**

Q4　利用している子どもや児童生徒が地域で安心して生活ができるよう、所属する園や学校の先生からの相談等を受けていただくことは可能ですか？これまでの取り組み例があれば教えてください。（地域支援）

Ans.

**・関係機関との会議に参加していただき、情報共有を行っています。**
**・保育園、小学校の先生方より対象児の様子を見学したいと希望され来所いただくこともあります。対象児の様子の観察や、情報共有や相談援助も行っています。**

Q5　職員は様々な研修等を受けていると思いますが、こども総合療育センターや発達障がい者支援センター等の公的機関が実施している研修への参加状況を教えてください。（令和７年度中）

Ans.

令和８年（2026 年）７月１日現在

| 事業所名 | ファミリーリンクさーくる | □児発　□訪問<br>■放デイ |
|---|---|---|
| 見学・相談等担当者 | 千代村　泰桐（管理者） | |

【基本情報】

| | |
|---|---|
| 住　　所 | 人吉市蟹作町３６７７番地 6 |
| 電話／ＦＡＸ | 0966-24-2150 |
| ＨＰアドレス | mirai-circle@pf7.so-net.nejp |
| 管　理　者 | 千代村泰桐 |
| 職員有資格<br>（　■常勤　☑非常勤　） | □保育士　■児童指導員　□医師　□看護師　□心理士<br>□理学療法士　□作業療法士　□言語聴覚士　■介護福祉士<br>■社会福祉士　■精神保健福祉士　□その他（　　） |



【活動内容】

基本的なカリキュラム

★放課後等デイサービス

| 登所 | 健康チェック | 個別課題・個別、集団 SST・LST | 降所 |
|---|---|---|---|
| 14:45 | | 16:00 | 17:45 |

| | |
|---|---|
| 定　　員 | 10 名／日 |
| 開　所　日 | ■月　■火　■水　■木　■金　□土　□日　□祝祭日<br>□その他（　　） |
| 利 用 時 間 | 放課後等デイサービス　　10：00～17：45 の受け入れ |
| サービス提供区域 | 人吉球磨全域 |
| 送迎の有無 | 放課後等デイサービス事業　　（有）／　無 |
| 送迎の範囲 | 人吉球磨全域 |
| 利用の方法<br>（児発のみ） | □家族（同伴）療育　　□単独（利用児のみ）療育<br>□その他（　　） |
| 学校長期休暇中の利用<br>（放デイのみ） | 長期休暇中は 10：00～17：45 の受け入れ |
| 事業所の特色 | ライフステージや個々の課題に合わせた SST・LST・集団活動を通し、小学生から社会に出るまでの期間を切れ目なく支援していきます。「楽しみながら学ぶ」をモットーに生きていく力を培います。学校生活や日常生活において必要な力、中高生はそれに加えて社会生活に適応する力を身につける事を目標としています。 |
| 一割負担以外の費用負担 | ■無　　□有（　　） |

**Q&A**

Q1　利用している子どもや児童生徒が取り組む主な活動内容と、その活動の目的を具体的に教えてください。（本人支援）

Ans.

**生きていく力を培うために以下の事を行っています。**

**・SST・・LST：コミュニケーション・身だしなみ・健康管理や金銭管理・料理等の社会性を身につける**

**・集団活動：様々な経験を通し、体力・協調性・リフレッシュ・感情のコントロール・感覚統合を育む**

**・個別支援：個別支援計画に沿って個人目標を設定し繰り返し行う（筆圧・計算・整理整頓等）**

**・振り返り：定期的に振り返りを行うことで課題への意識を定着させる**

Q2　就学や進学、また在園・在学中や事業所の変更の際等に何かしらの支援をしていただけますか？もし実施されている場合、具体的に教えてください。（移行支援）

Ans.

**・小学校から中学校、中学校から高校への進学支援。**

**・みなよしと連携し、高校卒業後の就労移行支援。**

**・上記、関係機関への情報提供。**

Q3　家族が安心して子育てをおこなうことができるための取り組みとして、家族が学ぶ機会や相談する機会はありますか？具体的に教えてください。（家族支援）

Ans.

**・事務所内相談もしくは、送迎時、電話、LINE 等で困りごとを確認し、困りごとがあればその都度対応しています。**

**・保護者向けの講演会等のお知らせの掲示や声掛けを行っています**

Q4　利用している子どもや児童生徒が地域で安心して生活ができるよう、所属する園や学校の先生からの相談等を受けていただくことは可能ですか？これまでの取り組み例があれば教えてください。（地域支援）

Ans.

**・現時点での実績はありませんが、ご依頼等あれば対応は可能です。**

Q5　職員は様々な研修等を受けていると思いますが、こども総合療育センターや発達障がい者支援センター等の公的機関が実施している研修への参加状況を教えてください。（令和 7 年度中）

Ans.

**・人吉球磨事業所向け研修会**

**安定した体と使いやすい手に育てる活動**

**～感覚統合と作業療法の視点から～　2 名参加**

**人吉球磨地域における理学療法士の役割と活動の実際**

**１名参加**

**・熊本県北部発達障がい者支援センター‘わっふる’主催**

**児童発達支援事業所・放課後等デイサービス事業所等向け**

**「自閉スペクトラム症及び発達障がい」の特性について　４名参加**

令和８年（2026 年）７月１日現在

| 事業所名 | ひつじ子どもの家 | ■児発　□訪問<br>□放デイ |
|---|---|---|
| 見学・相談等担当者 | 小城　浩美（管理者兼児童発達支援管理責任者） | |

【基本情報】

| | |
|---|---|
| 住　　所 | 人吉市上田代町 896 |
| 電話／ＦＡＸ | 0966-23-0046　／　0966-23-0046 |
| ＨＰアドレス | hitsuji-kodomonoie-1.jimdosite.com |
| 管　理　者 | 小城　浩美 |
| 職員有資格<br>（　■常勤　☑非常勤　） | ■保育士　■児童指導員　□医師　□看護師　□心理士<br>□理学療法士　□作業療法士　□言語聴覚士　□介護福祉士<br>□社会福祉士　□精神保健福祉士　□その他（　　） |



【活動内容】

基本的なカリキュラム

★児童発達支援　（個別療育 9:00～10:00・小集団療育 10:00～12:00）

| 登所 | 身支度 | スケジュール確認 | 自己選択（おしごと） | 絵本 | 身支度 | 降所 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 9:00 | | | 9:20 | | | 11:30 |

★放課後等デイサービス

| 登所 | | | | | | 降所 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 00:00 | | | 00:00 | | | 00:00 |

| | |
|---|---|
| 定　　員 | 10 名／日 |
| 開　所　日 | ■月　■火　■水　■木　■金　□土　□日　□祝祭日<br>■その他（土曜見学対応）　　） |
| 利 用 時 間 | 児童発達支援　　9：00～12：00　　10:00～14:00 |
| サービス提供区域 | 人吉球磨全域 |
| 送迎の有無 | 児童発達支援事業　　（有）／　無<br>放課後等デイサービス事業　　有　／　無 |
| 送迎の範囲 | 人吉球磨全域 |
| 利用の方法<br>（児発のみ） | ■家族（同伴）療育　　■単独（利用児のみ）療育<br>□その他（　　） |
| 学校長期休暇中の利用<br>（放デイのみ） | |
| 事業所の特色 | ・モンテッソーリ教育を基盤とした発達支援をおこないます。<br>（モンテッソーリ教育とは、イタリアの女医マリア・モンテッソーリが考案した教育法です。子どもには自ら育つ「自己教育力」が備わっています。その力を引き出すために環境を整え、お子さまの課題に合った発達支援をおこないます。<br>・畑で季節の作物を育て収穫、調理体験を行います。また近隣の農家の方の作物の育ちを見学、収穫体験をさせていただきます。 |
| 一割負担以外の費用負担 | □無　　■有（昼食代） |

事業所名：　ひつじ子どもの家

**Q&A**

Q1　利用している子どもや児童生徒が取り組む主な活動内容と、その活動の目的を具体的に教えてください。（本人支援）

Ans.

**・モンテッソーリ教育を基盤とした発達支援を行います。**
**子ども自身が選んだ「おしごと」と呼ばれる活動に集中して取り組めるよう、個々にあった教具や教材の提供をします。子どもの取り巻く環境が、成長につながると考え「一人でできるように手伝ってね」という思いに寄り添いながら支援をします。**
**・近隣の農家様に協力していただき食の大切さ、調理の楽しさなど食育体験を行います。**

Q2　就学や進学、また在園・在学中や事業所の変更の際等に何かしらの支援をしていただけますか？もし実施されている場合、具体的に教えてください。（移行支援）

Ans.

**・保護者の方の相談内容を踏まえ、関係機関との情報共有をもとに、就学先に情報提供を行います。必要に応じて就学先への訪問をします。**

Q3　家族が安心して子育てをおこなうことができるための取り組みとして、家族が学ぶ機会や相談する機会はありますか？具体的に教えてください。（家族支援）

Ans.

**・随時、相談は受け付けております。**
**・保護者向けの勉強会や講演会は今後計画を立てていきます。**
**・母子通所の際、支援者とお子さんとの関り方を見たり聞いたりしながら家庭でもできることを、一緒に考えます。**

Q4　利用している子どもや児童生徒が地域で安心して生活ができるよう、所属する園や学校の先生からの相談等を受けていただくことは可能ですか？これまでの取り組み例があれば教えてください。（地域支援）

Ans.

**・可能です。**
**園と事業所の並行利用なのでスムーズな移行ができるよう連携をとります。担当、担任の先生と細やかな連携をとっていきます。**

Q5　職員は様々な研修等を受けていると思いますが、こども総合療育センターや発達障がい者支援センター等の公的機関が実施している研修への参加状況を教えてください。（令和 7 年度中）

Ans.

**令和８年５月に開所しましたので、今後、学びを深めていくため積極的に参加していきます。**

令和８年（2026 年）７月１日現在

| 事業所名 | KTEC ベース人吉 | □児発　■訪問<br>■放デイ |
|---|---|---|
| 見学・相談等担当者 | 伊久美　明美（管理者） | |

【基本情報】

| | |
|---|---|
| 住　　所 | 人吉市駒井田町 216-29 |
| 電話／ＦＡＸ | 0966-23-5260　／　0966-23-5260 |
| ＨＰアドレス | https://www.ktec.ac.jp/ktec-base/ |
| 管　理　者 | 伊久美　明美 |
| 職員有資格<br>（　■常勤　☑非常勤　） | ■保育士　■児童指導員　□医師　□看護師　□心理士<br>□理学療法士　□作業療法士　□言語聴覚士　■介護福祉士<br>□社会福祉士　□精神保健福祉士　□その他（　　） |



【活動内容】

基本的なカリキュラム

★児童発達支援　（個別療育 9:00～10:00・グループ療育 10:00～12:00）

| 登所 | | | | | | 降所 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 00:00 | | | 00:00 | | | 00:00 |

★放課後等デイサービス

| 登所 | 健康チェック | 個別課題・SST・自立に向けての生活習得・PC 操作の取得 | 降所 |
|---|---|---|---|
| 14：00 | | 16：00 | 18：00 |

| | |
|---|---|
| 定　　員 | 10 名／日 |
| 開　所　日 | ■月　■火　■水　□木　■金　■土　□日　□祝祭日<br>□その他（　　） |
| 利 用 時 間 | 放課後等デイサービス　14：00～18：00<br>保育所等訪問支援　9：30～14：00 |
| サービス提供区域 | 人吉球磨全域 |
| 送迎の有無 | 児童発達支援事業　有　／　無<br>放課後等デイサービス事業　㊒　／　無 |
| 送迎の範囲 | 人吉球磨全域 |
| 利用の方法<br>（児発のみ） | □家族（同伴）療育　□単独（利用児のみ）療育<br>□その他（　　） |
| 学校長期休暇中の利用<br>（放デイのみ） | |
| 事業所の特色 | ・SST（ソーシャルスキルトレーニング）、コミュニケーション支援、学習支援、生活スキル訓練、進路・就労を見据えた体験活動を通して、自立した社会生活に必要な力を育みます。思春期特有の課題の応じた支援を行い、将来への自信につながる療育を提供します。<br>・学校・家庭・関係機関と密接に連携し、支援内容を共有しながら一貫した支援を行います。保護者への相談支援も充実させ、子供と家族が安心して成長できるよう環境づくりを目指しています。 |
| 一割負担以外の費用負担 | □無■有（レクレーション代・長期休みのお弁当代・遠出する時の交通費） |

事業所名：　KTEC ベース人吉

**Q&A**

Q1　利用している子どもや児童生徒が取り組む主な活動内容と、その活動の目的を具体的に教えてください。（本人支援）

Ans.

**・KTEC ベース人吉では、思春期・青年期の児童生徒を対象に、一人ひとりの特性や発達段階、将来の目標に応じた個別支援と少集団活動を実施しています。**

**・主な活動内容は、SST（ソーシャルスキルトレーニング）、コミュニケーション支援、学習支援、生活スキルの習得、自己理解・感情コントロール、パソコンや創作活動、地域での体験活動、進路、就労を見据えた社会性の育成です。**

**・活動を通して、自分で考え行動する力や対人関係を築く力、自己肯定感を育み、安心して地域生活や学校生活を送り、将来の自立につながる力を身につけることを目的としています。**

Q2　就学や進学、また在園・在学中や事業所の変更の際等に何かしらの支援をしていただけますか？もし実施されている場合、具体的に教えてください。（移行支援）

Ans.

**・学校への入学・進学・進級や卒業後の進路選択、事業所変更時には、本人・保護者・学校・相談支援・専門員・関係機関と情報共有を行い、切れ目のない支援を行います。**

**・必要に応じてケース会議への参加や支援内容の引継ぎを行い、新しい環境へ安心して移行できるよう支援します。また、進路相談や就労・福祉サービス利用に向けた情報提供や体験活動も実施します。**

Q3　家族が安心して子育てをおこなうことができるための取り組みとして、家族が学ぶ機会や相談する機会はありますか？具体的に教えてください。（家族支援）

Ans.

**・必要に応じて個別相談や関係機関との連携を行い、保護者が安心して子育てができるよう継続的に支援します。また、家庭と事業所が共通の目標を持って支援できるよう情報共有を大切にしています。**

Q4　利用している子どもや児童生徒が地域で安心して生活ができるよう、所属する園や学校の先生からの相談等を受けていただくことは可能ですか？これまでの取り組み例があれば教えてください。（地域支援）

Ans.

**・学校や相談支援事業所、医療、福祉機関など関係機関からの相談に対応し、必要に応じて、情報共有やケース会議を実施しています。**

**・学校訪問や電話・面談を通じて支援方法を共有し、本人が学校・家庭・地域で安心して生活できるよう一貫した支援を行います。また、地域資源を活用した体験活動や社会参加の機会を設け、地域とのつながりを大切にしています。**

Q5　職員は様々な研修等を受けていると思いますが、こども総合療育センターや発達障がい者支援センター等の公的機関が実施している研修への参加状況を教えてください。（令和 7 年度中）

Ans.

**※令和 8 年度開所のため、令和 7 年度中の研修参加状況は無し**